

12-56

18  
4

2320191  
H

法令全書

訓令

○大藏省訓令第一號

明治四十年十一月十二日大藏省訓令第四十四號中「砂金採取地稅」ヲ「砂鑛區稅」ニ改ム  
明治四十四年一月十三日

〔参照〕

明治四十年十一月十二日大藏省訓令第四十四號ハ釐米稅及砂金採取地稅賦課規程方ナリ

○陸軍省訓令第一號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記  
明治四十四年一月二十八日

歲出經常部

陸軍大臣 子爵寺內正毅  
陸軍一級  
△印増設

款	項	目	額
軍 事 費	修 繕 費	天位 △澎湖島要防設備 △造物修繕 △棚橋倉庫屋根修繕	



明治四十四年一月 訓令 大藏省第一號 陸軍省第一號

稅務監督局 稅務署

大藏大臣 侯爵桂太郎























○朝鮮總督府訓令第四號(官報一月三十一日)

臨時恩賜金ノ收支ニ關スル事務ハ隆熙三年十一月度支部訓令第一一七號地方費現金出納手續ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

明治四十四年一月二十四日

○朝鮮總督府訓令第五號(官報一月三十一日)

臨時恩賜金管理規則第三條ノ銀行ハ韓國銀行トス

明治四十四年一月二十四日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

道

○內務省訓令第一號

其派管長缺職ニ付後任管長就職ニ至ル迄ノ間權大僧正古泉性信ヲシテ宗制寺法ニ據リ管長ノ事務ヲ取扱ハシム

天合宗真盛派

明治四十四年二月三日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

○大藏省訓令第二號

明治三十六年六月大藏省訓令第三十一號稅務統計彙帳調製規程中左ノ通改正ス

稅務監督局 稅務署

明治四十四年二月七日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第五條 各表ニハ圓、石、噸、町等ノ單位稱呼ヲ標記シ單位以上ノ數ハ三位毎ニ、一ヲ附シ單位未満ノ數ニシテ切捨ノ爲掲クヘキ數ナキモノハ「〇」ヲ空欄ニハ「一」ヲ填ムヘシ  
第五條ノ二 單位以下ノ數ハ各表様式ニ別段ノ規定アルモノノ外四捨五入シテ單位ニ止ムヘシ  
單位以下ノ數ヲ掲クヘキ場合ニ於テ相當欄ノ設ナキモノハ單位以上ノ數ノ末尾ニ細字ヲ以テ「〇〇」ノ如ク記載スヘシ但シ本項ノ場合ニ於ケル段別ハ缺ヲ以テ單位ト看做ス

稅務統計彙帳目錄中  
第三會社數表ヲ「第三會社表」ニ第七〇砂金採取地稅表ヲ第七〇砂鑛區稅表ニ改メ「第一三收穫皆無地地租年賦延納額表」ノ次ニ「第一三ノ二地租延納年賦額表」ヲ「第二五營業稅表」ノ次ニ「第二五ノ二營業稅算定額表」ヲ「第三九酒造稅表」ノ次ニ「第四〇酒類藏出高表」ヲ「第五三三三月一日現在持越酒精、酒精含有飲料、麥酒、石高表」ノ次ニ「第五三三ノ二課稅外葡萄酒、果實酒製造場數及石高表」ヲ「第七八織物消費稅免除表」ノ次ニ「第七九織物交付金表」ヲ加ヘ左ノ各表ヲ削ル



第八 改良地表

第三五 相續稅擔保種別表

第四〇 含有酒精容量度數別酒類査定石高表

第四一 含有酒精容量度數別燒酎査定石高表

第五九 砂糖消費稅擔保種別表

第七四 骨牌製造免許料分納擔保種別表

第七九 織物消費稅擔保種別表

第七九ノ六 石油消費稅擔保種別表

第八九 印紙賣下高及賣捌人員表

稅務統計彙帳樣式中

第一 管區表管内一巡里程欄及備考(七)ノ「汽車路」ヲ「鐵道」ニ改ム

第三 「會社數表」ヲ「會社表」ニ改ム

第四 有租地表種別欄郡村宅地、市街宅地ヲ「宅地」ニ改メ、地租欄內定率「増徴」計ノ三欄ヲ削リ備考ニ左ノ二項ヲ加フ

(四)宅地ハ坪數ヲ段別ニ換算シテ記入スルモノトス(以下各表亦同シ)

(五)段別ハ四捨五入シテ畝位ニ止ム(以下各表亦同シ)但シ鑛泉地ハ畝以下ノ數ヲモ記入スルモノトス

第五 免租地表種別欄「學校敷地」ノ次ニ「府縣社地」ヲ「鄉村社地」ヲ加フ

第六 年期地表面種別欄「郡村宅地、市街宅地」ヲ「宅地」ニ其ニ第二欄「耕地區劃形狀變更地」ヲ「耕地整理地」ニ改メ其ニ第三欄「造林地」ノ次ニ「地租輕減地」ノ一欄ヲ設ケ備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(六)地租輕減地ノ地價ハ其ノ全額ヲ掲ケ輕減地租ニ相當スル地價ヲ內書スルモノトス

第七 變換地表面第一第四欄「郡村宅地」ヲ「宅地」ニ改メ第五欄「市街宅地」ヲ削リ備考ヲ左ノ如ク改ム

(一)曆年ニ依リ記入スルモノトス

第一〇 地租増減表面種別欄「官地成」地目變換地價修正「地類變換地價修正」ヲ削リ「耕地區劃形狀變更地」ヲ「耕地整理地」ニ改メ備考ヲ左ノ如ク改ム

(一)曆年ニ依リ筆數ヲ除クノ外ハ徵收額計算書ニ依リ記入スルモノトス

(二)耕地整理地ハ其ノ成功差額ヲ記入スルモノトス

第一一 地租納額別人員表備考(二)ヲ削ル

第一二 收穫皆無地免租表面種別欄ヲ左ノ如ク改ム

種別	年	計
	上	下
何	田畑	何
水	合	(以下同)

第一四 地價最高最低表種別欄「郡村宅地、市街宅地」ヲ「宅地」ニ改メ備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(三)場所ハ大字名迄段金ハ厘位迄ヲ記入スルモノトス

第一六 土地賣買價格表表名ノ右傍「市街宅地」ハ「一坪其他」ハ「一段歩當」ヲ削リ種別欄「郡村宅地、市街宅地」ヲ「宅地」ニ改メ備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(三)地價及價格ハ一段歩當ヲ記入スルモノトス

第一七 土地賃貸價格表表名ノ右傍「市街宅地」ハ「一坪其他」ハ「一段歩當」ヲ削リ種別欄「郡村宅地、市街宅地」ヲ「宅地」ニ改メ備考ニ左ノ二項ヲ加フ

(五)地價及賃貸價格ハ一段歩當ヲ記入スルモノトス



- (六) 貸賃價格ノ金額ハ厘位迄數量ハ合位迄ヲ記入スルモノトス
- 第一八 登錄稅表稅額欄ノ次ニ「過貼印紙」ノ欄ヲ設ケ備考(二)ヲ削ル
- 第二二 第一種第三種所得審查決定額表備考(五)ヲ左ノ如ク改ム
  - (五) 前年ノ審查未決額ハ當初決定額及請求額ニ外書シ其ノ決定ノ結果ニ依リ更正額以下ノ相當種別ニ別ニ外書スルモノトス
- 第二三 第一種第三種所得更正額表備考(六)ヲ左ノ如ク改ム
  - (六) 前年ノ處分未決額ハ決定額及申出額ニ外書シ其ノ決定ノ結果ニ依リ更正額以下ノ相當種別ニ外書スルモノトス
- 第二五 營業稅表種別欄「船渠業」土木請負業ヲ削リ「勞力請負業」ヲ「請負業」ニ公ナル周旋業ヲ「周旋業」ニ代辨業ヲ「代理業」ニ「仲買業」ヲ「問屋業」ニ改メ「印刷業」ノ次ニ「出版業」ヲ「問屋業」ノ次ニ「信託業」ヲ加フ

從業者		職工勞役者	
十五歳以上	十五歳未満	十五歳以上	十五歳未満

同表從業者ノ欄ヲ左ノ如ク改ム

- 同表稅額欄内「定率」増徴「計」ノ三欄及備考(四)ヲ削ル
- 第二九 營業稅納額別人員表種別欄法人ノ次ニ「計」ヲ加ヘ備考(二)ヲ削リ(三)ヲ(二)ニ改ム
- 第三〇 通行稅表種別欄汽船ノ部「運」ヲ「海里」ニ改ム
- 第三一 相續開始數及課稅區分表備考(二)ヲ左ノ如ク改メ(三)ヲ加フ
  - (一) 稅法第七條ニ該當スルモノハ△印稅法第十條ニ該當スルモノハ□印ヲ附シテ内書スルモノトス
  - (二) 稅法第十條ニ該當スルモノ爲稅額ノ全部ヲ免除シタルモノモ相續稅ヲ課シタルモノニ合算スルモノトス
- 第三二 相續稅表備考(二)以下ヲ左ノ如ク改ム
  - (一) 本表ノ第一種第二種第三種トハ稅法第八條稅率欄ノ相續人ノ種類ノ順序ニ依ルモノトス
  - (二) 稅法第十條ニ該當スルモノ爲稅額ノ全部ヲ免除シタルモノモ共ノ人員及課稅價格ハ之ヲ算入スルモノトス但シ免除ニ係ル稅額ハ算入セサルモノトス
  - (三) 遺產相續ニ付テハ相續件數ヲ人員欄ニ赤記スルモノトス
  - (四) 左ニ該當スルモノハ課稅區分毎ニ人員、課稅價格、稅額ヲ備考ニ記載スルモノトス
    - イ 相續開始地カ稅法施行地ニ在ラサルモノ
    - ロ 稅法第九條ニ該當スルモノ
    - ハ 稅法第二十二條ニ依リ課稅價格ヲ決定シタルモノ
    - ニ 稅法第二十三條ニ該當スルモノ
    - ホ 十萬圓ヲ超ユルモノハ稅率ノ異ナル毎ニ其ノ内譯額
- 第三三 相續稅免除表種別欄三年「五年」ニ「七年」ニ改ム
- 第三四 相續稅納額別人員表備考(二)ヲ左ノ如ク改ム
  - (一) 遺產相續ハ件數ニ依リ計算スルモノトス



第三七 相續稅審查決定額表備考(三)ヲ左ノ如ク改ム  
 (三)前年度ノ審查未決額ハ當初決定額及請求額欄ニ外書シ其ノ決定ノ結果ニ依リ更正額以下ノ各相當欄ニ外書スルモノトス  
 第三八 相續稅訴願訴訟ニ依ル決定額表備考(四)ヲ左ノ如ク改ム  
 (四)前年度ノ處分未決額ハ決定額及請求額欄ニ外書シ其ノ決定ノ結果ニ依リ更正額以下ノ各相當欄ニ外書スルモノトス  
 第三九 酒造稅表備考ニ左ノ一項ヲ加フ  
 (八)犯則ニ係ル査定高ハ合位迄ヲ記入スルモノトス  
 第四九 酒精及酒精含有飲料稅表備考(四)ヲ左ノ如ク改メ(七)ヲ加フ  
 (四)免許者ノ犯則ニ係ル査定高及稅額ハ種別毎ニ備考ニ記載スルモノトス  
 (七)犯則ニ係ル査定高ハ合位迄ヲ記入スルモノトス  
 第五〇 酒精及酒精含有飲料稅免除表種別欄ヲ左ノ如ク改ム

種 別	
何	年
酒	精
災害ニ罹リ失シタルモノ	供給シタルモノ
工業用ニ使用又ハ	計
ルモノ	酒 精 含 有 飲 料
	災害ニ罹リ失シタルモノ
	合 計

第五一 麥酒稅表備考ニ左ノ一項ヲ加フ  
 (五)免許者ノ犯則ニ係ル査定石數及稅額ハ備考ニ記載スルモノトス

第五七 砂糖消費稅表種別欄ヲ左ノ如ク改ム

種 別	
砂 糖	種 類
第一種	一 黒糖
甲、精分ヲ蔗糖トシテ全重量ノ七十	計
乙、其ノ他ノモノ	二 三 四 五 六 合
計	計
第二種	(其ノ他ノ)
甲、精分ヲ蔗糖トシテ全重量ノ六十	計
乙、其ノ他ノモノ	計
計	計
水	計
總	計

同表備考ニ左ノ一項ヲ加フ  
 (三)糖蜜第一種乙ニ付テハ其ノ含有糖分ノ斤數ヲ外書スルモノトス  
 第五八 砂糖消費稅徵收區分表備考(二)ヲ削リ(三)ニ改ム  
 第六〇 輸入原料砂糖戻稅表製造高欄ヲ左ノ如ク改ム

高				
種				計
第四種	第五種	第六種	計	合計
斤	斤	斤	斤	斤



生			成		
糖	蜜	計	第一種	第二種	第三種
第二種甲	第二種乙				
斤	斤	斤	斤	斤	斤

同表備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(三) 使用高及生成高ハ當該年度ニ於テ實際下戻セシ金額ニ相當スル数量ヲ記入スルモノトス

第六〇ノ二 煉乳原料砂糖戻稅表備考(二)ヲ左ノ如ク改ム

(二) 人員ハ十二月末日現在煉乳製造人員ヲ記入スルモノトス

第六一 醬油稅表備考ニ左ノ二項ヲ加フ

(六) 免許者ノ犯則ニ係ル査定石數稅額並舊稅率ヲ適用シタルモノノ査定石數稅額ハ備考ニ記載スルモノトス

(七) 犯則ニ係ル査定石數ハ合位迄ヲ記入スルモノトス

第六二 醬油稅免除表備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(二) 舊稅率ニ係ルモノハ種類毎ニ石數稅額ヲ備考ニ記載スルモノトス

- 第六三 醬油製造場數造石高區分表備考(一)ノ營業者ノヲ削ル
- 第六四 一月一日現在持越醬油石高表備考(一)ヲ削ル
- 第六五 醬油歩合表備考ニ左ノ一項ヲ加フ
- (三) 製成醬油一石ニ對スル使用諸味ノ石數ハ合位迄ヲ記入スルモノトス
- 第六六 自家用醬油稅表備考ヲ左ノ如ク改ム
- (一) 人員ハ一月一日現在ヲ記入スルモノトス
- (二) 稅額ハ人員ニ稅率ヲ乘シタルモノヲ記入スルモノトス
- 第六七 賣藥稅表營業人員方數營業稅額欄ヲ左ノ如ク改ム

方	數		營業稅額	
	賣藥	計	賣藥	計
計				



營業人員	營業賣品
營業賣品	營業賣品

同表備考(一)(二)(三)ヲ左ノ如ク改メ(五)ヲ削ル

- (一)營業人員方數及請賣人員ハ其ノ年度一月一日ノ現在、貼用印紙高ハ會計年度ニ依リ記入スルモノトス
- (二)營業稅額ハ方數ニ稅率ヲ乘シタルモノヲ記入スルモノトス
- (三)營業人員及請賣人員ハ合計ノ部ノミニ記入スルモノトス

第六九 鑛業稅表鑛區稅額ヲ左ノ如ク改メ、鑛產稅稅額及稅額合計欄内、定率、増徴「計」ノ各欄ヲ削ル

試掘鑛區稅			採掘鑛區稅		
鑛區數	坪數	稅額	鑛區數	坪數	稅額
	千坪			千坪	

- 第七〇 砂金採取地稅表ヲ「砂鑛區稅表」ニ採取區域數ヲ「砂鑛區域數」ニ改メ
- 第七一 取引所稅表稅額欄内、定率「増徴」計ノ三欄ヲ削リ備考(一)ノ二月ヲ三月ニ改メ
- 第七二 骨牌稅表年次欄ヲ左ノ如ク改メ

種別	度ノモノ		紙ノモノ	
	年	度	年	度
	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ
	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ
	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ	何内地製造ノモノ

同表第四欄「製造組數」ヲ「組數」ニ改メ備考ニ左ノ一項ヲ加フ

(三)製造人員、所數及免許料ハ内地製造ノモノ及合計ノ部ニ販賣人員所數ハ合計ノ部ノミニ記入スルモノトス

第七六 織物消費稅表種別欄「毛織物」ノ次ニ「綿毛交織物」ヲ加ヘ其ノ他ノ織物ヲ「綿毛交織物」ノ次ニ移シ備考(三)ヲ削ル

第七八 織物消費稅免除表種別欄「毛織物」ノ次ニ「綿毛交織物」ヲ加ヘ其ノ他ノ織物ヲ「綿毛交織物」ノ次ニ移ス

第七九ノ三 石油消費稅表備考(二)ヲ左ノ如ク改メ

(二)稅務署ニ於テ外國輸入ノ石油ヲ査定シタルトキハ其ノ石數ヲ内書スルモノトス

第八〇 稅印押捺表種別欄「小切手」ヲ削ル

第八一 租稅賦課及測定額表備考(五)ノ「砂糖消費稅」ニ在テハ「砂糖消費稅」ヲ「砂糖消費稅」ニ改メ

第八二 國稅納期別收入歩合表種別欄「郡村宅地」市街宅地ヲ削リ「田租」ノ次ニ「畑租」宅地租ヲ加ヘ「砂金採取地稅」ヲ「砂鑛區稅」ニ改メ

第八四 租稅外諸收入表種別欄收入印紙ヲ削ル



第八八 間接國稅犯則行爲別人員表共一酒造稅法第七欄ヲ「納稅保證トシテ保存ノ義務ヲ有スル酒類ヲ他人ニ讓渡シタル者」ヲ「納稅處分ヲ受クルモ仍稅金ヲ完納スル能ハサル者」ニ改ム

同表共四砂糖消費稅法第四欄ノ次ニ「砂糖、糖蜜、糖水ヲ製造スル者同一ノ場所ニ於テ砂糖、糖蜜若ハ糖水ノ販賣業又ハ砂糖、糖蜜若ハ糖水ヲ原料トスル砂糖、糖蜜若ハ糖水以外ノ物品ノ製造ヲ兼營シタル者」砂糖、糖蜜、糖水ヲ製造スル者砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ原料トスル物品ヲ製造シタル者」ノ二欄ヲ加フ

同表共九賣藥稅法第六欄ノ次ニ「賣藥營業者課稅標準ノ申告ヲ爲サス又ハ虛偽ノ申告ヲ爲シタル者」ノ一欄ヲ加フ

第九一 內國稅徵收費現計額表備考(二)ヲ(三)ニ改メ左ノ一項ヲ加フ  
(二)費目ノ變更アリタルトキハ相當訂正スルモノトス

第九二 內國稅徵收費別表備考(二)ヲ(三)ニ改メ左ノ一項ヲ加フ  
(二)費目ノ變更アリタルトキハ相當訂正スルモノトス

第三九酒造稅表、第四九酒精及酒精含有飲料稅表、第六一醬油稅表及其ノ他ノ各表中單位以下ノ數ヲ記入セサルモノノ單位ノ線ヲ削ル

左ノ各表ヲ廢止ス

第八 改良地表

第三五 相續稅擔保種別表

第四〇 含有酒精容量度數別酒類査定石高表

第四一 含有酒精容量度數別燒酎査定石高表

第五九 砂糖消費稅擔保種別表

第七四 骨牌製造免許料分納擔保種別表

第七九 織物消費稅擔保種別表

第七九ノ六石油消費稅擔保種別表  
第八九 印紙賣下高及賣捌人員表  
左ノ各表ヲ改正追加ス

第一三ノ二 地租延納年賦額表

種 別	前年ヨリ越高	年 賦 額	備 考
年 租 額 計			
不 償 合			
何 年			
何 年			
(以下同上)			











明治四十四年二月 訓令 大藏省第二號

第二十九條ニ依ル更定額表

改算額		更正ノ理由ナキモノ		處分未決額		備考
人員	税額	人員	税額	人員	税額	
						(一)翌年三月末日ヲ限り記入スルモノトス (二)前年ノ處分未決額ハ決定額及更正申立附屬ニ外濤シ其ノ決定ノ結果ニ依リ改算額以下ノ各相當額ニ外濤スルモノトス

三

第二七

營業稅訴願訴訟ニ依ル

種別	審査決定額		請求額		更正額		更正ノ理由ナキモノ	
	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額
何年								
物品販賣業								
製造業								
何業								
合計								
何年								
(以下同上)								

明治四十四年二月 訓令 大藏省第二號

三〇



明治四十四年二月 附令 大藏省第二號

相續稅年賦延納額表

本年度許可額			本年度調定額			翌年度～越高及其ノ年割額					
本年度決定ノ分	前年度決定ノ分	計	本年度許可ノ分	前年度決定ノ分	計	何年度	何年度	何年度	何年度	何年度	計

三三

明治四十四年二月 附令 大藏省第二號

第二八 營業税法

種 別	決 定 額		更 正 申 立 額	
	人 員	稅 額	人 員	稅 額
何 年 物 品 販 賣 業 製 造 業 何				
合 計				
何 年 (以下同上)				

(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス

三三



明治四十四年二月 勅令 大藏省第二號

第四〇 酒類 藏出 高										
種 別	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	
何酒造年度	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石
清酒										
新古										
計										
燗酒										
新古										
計										
自新古										
味新古										
燒新古										
合 計										
何酒造年度 (以下同上)										

三五

表

第三六					備 考
種 別	前年度	本年	増減	率	
何年度					(一)自製酒ノミヲ記入スルモノトス (二)其ノ年度製造ニ係ルモノヲ新酒トシ前年度以前ノ製造ニ係ルモノヲ古酒トシテ區分スルモノトス (三)新酒、古酒ノ混和酒ハ各其ノ混和ノ割合ニ依リ之ヲ按分シ算出スルモノトス (四)割水酒ハ割水ノ量ヲ控除スルモノトス
家督相續					
遺産相續					
合 計					
何年度 (以下同上)					

明治四十四年二月 勅令 大藏省第二號

三六



高					備 考
高					
糖	計	糖蜜	糖水	合計	
第六種	計	糖蜜	糖水	合計	
斤	斤	斤	斤	斤	
					(一)前年十月一日ヨリ其ノ年九月末日迄ノ通計ヲ記入スルモノトス
					(二)植付段別ハ前年十月一日ヨリ其ノ年九月末日迄ニ收穫アリタル段別ヲ記入スルモノトス
					(三)第一次製糖高ハ甘蔗ノ原料數量ニ對スルモノヲ記入スルモノトス
					(四)再製糖ノ生成高ニシテ内地産甘蔗ヲ以テ製造シタルモノニ非サル砂糖ヲ原料トシタルモノノ斤數ハ各種類毎ニ内需スルモノトス但シ内地産甘蔗ヲ以テ製造シタル砂糖ト混和セルモノハ適當ニ歩合ヲ以テ算出スヘシ
					(五)第一次ノ製糖ヲ以テ全ク製造ヲ了シ査定ヲ受クルモノニ在リアハ其ノ斤數ヲ當該種類別ニ外書シ査定種別ヲ冠記スルモノトス

第五三ノ二  
課税外葡萄酒果實酒製造場數及石高表

種 別	人 員	場 數	石 數	備 考
何 年度			石	(一)石數ハ三月一日ヨリ翌年二月末日迄ノ通計、人員及場數ハ其ノ年度二月末日現在ヲ記入スルモノトス
葡 萄 酒				
果 實 酒				(二)石數ハ合位迄ヲ記入スルモノトス
合 計				(三)葡萄酒ト果實酒トノ製造ヲ兼ヌルモノノ人員場數ハ主タル一方ニ照會シ他ハ亦併スルモノトス
何 年度				
(以下同上)				



第五五						
備 考	年 次	甘 蔗		第 一 次		
		植 付 段 別	收 穫 高	原 料 数 量	黑 糖	白 下 糖
(一)一月一日ノ現在ニ依リ記 入スルモノトス (二)本表ノ粗糖トハ第一種乃 至第四種ノ砂糖ヲ謂ヒ白 糖トハ第五種ノ砂糖ヲ謂 ヒ精製糖トハ骨炭濾過其 ノ他之ニ代ハルヘキ方法 ニ依リ精製シタル砂糖ヲ 謂フ (三)數種類ヲ製造スルモノノ 人員及揚敷ハ主タル一方 ニ黒糖シ他ハ赤糖スルモ ノトス	何 年					

甘蔗植付段別、收穫高及製糖高表

甘蔗製糖高表										
製 糖 高			再 製 糖 液							
白 糖	糖 蜜	計	原 料 糖 使 用 高			生 砂				
			計	第一種	第二種	第三種	第四種	第五種		
斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤	斤



明治四十四年二月 訓令 大蔵省第二號

織物製造販賣戸數表

造		販賣	備考
及總	計		
			(一)一月一日現在=依り記入 スルモノトス

第五六

種別	轉入 黒糖
何年 人場 員數	
何年 (以下同上)	

砂糖製造人員場數表

白下糖	含蜜 粗糖	分蜜 粗糖	再製 粗糖	再製 白糖	白糖	精製糖	水砂糖	水砂糖以 外之第六 級糖	精蜜	糖水	合計

明治四十四年二月 訓令 大蔵省第二號



明治四十四年二月 訓令 大蔵省第二號

第七九 織物交付						
年次	絹織物	絹織物 交付	綿織物	麻織物	毛織物	絹毛織物 交付
何年度						

四三

明治四十四年二月 訓令 大蔵省第二號

金表			第七五	
其ノ他 ノ織物	合計	備考	年次	製造
		(一)會計年度ニ依リ記入スルモノトス	何年	

四二



明治四十四年二月 訓令 大藏省第二號

滞 納 表

滞納		税金賦課		滞納		備 考
人員	税額	人員	税額	人員	税額	
						(一) 會計年度ニ依リ翌年六月末日迄ニ過分 セシ結果ヲ掲クルモノトス
						(二) 一人ニシテ二日以上ノ税金ヲ滞納セシ モノアルトキハ滞納金額ノ多キ方ニ其 ノ人員ヲ算入シ他ハ赤書スルモノト ス
						(三) 一人ニシテ滞納税金ノ一部ハ徴收シ他 ハ賦課又ハ翌年度ニ繰越トナリタルモ ノアルトキハ各別ニ一人トシテ計算ス ルモノトス
						(四) 督促状ヲ發セシテ財産差押ヲ爲シタ ルモノアルトキハ財産差押ノ欄ニ内書 スルモノトス
						(五) 滞納区分ノ引当ヲ爲シタルモノハ滞納 及督促状發付欄ノミニ合算シ其ノ引当 ヲ受ケタルモノハ財産差押前納付以下 ノ相當欄ノミニ合算スルモノトス
						(六) 翌年度ニ繰越シタルモノハ別表ニ調製 スヘシ但シ滞納以下督促状發付迄ノ備 付前ノ前年度ヨリ繰越ノ一欄ヲ設ケル モノトス

四五

第七九ノ二 石油製造販賣戸数表

年 次	製 造	販 賣	備 考
何 年			(一) 一月一日現在ニ依リ記入スル モノトス

明治四十四年二月 訓令 大藏省第二號

四四



明治四十四年二月訓令 大藏省第二號

間接國稅犯則行為別人員表 其十 織物消費税法

消費税納付前 又へ擔保提供 前ニ於テ織物 ヲ消費シタル 者	税法第七條ニ 依リ引取リタル 織物ヲ其ノ 場所ニ移入セ タル者	消費税納付前 ニ於テ製造場 稅額又ハ稅額 合算ヨリ織物 ヲ引取リタル 者	織物製造者カ 消費税納付前 ニ於テ織物ヲ 引取リタル者	織物製造者カ 同一ノ場所ニ 於テ織物ノ販 賣又ハ織物 ヲ原料トシテ 製品ノ製造業 ヲ經營シタル 者	織物又ハ製品 ノ製造出入ニ 關スル帳簿ヲ 備置セズ又ハ 其ノ記帳ヲ許 シテ一覽ヲ 呈スル者	命令ノ定ムル 方法ニ依リ織 物ノ價額ヲ算 定セズ又ハ印 紙ヲ貼用セズ タル者	依現貨之ノ口 價額行フ相 取ル者	合計

四七

明治四十四年二月訓令 大藏省第二號

第八五 國 稅

種 別	滯 納		寄 託 費 納		寄 託 費 納		財 產 差 押		財 產 差 押	
	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額	人員	稅額
何 年 度 地 租 田 租 、 計 稅 、 合 計										
何 年 度 (以下同上)										

備 考

四六











第二	直接稅負擔額表	翌年度十月末日
第三	會社表	翌年度九月末日
第一〇	地租增減表	翌年度四月末日
第一一	地租納額別人員表	其ノ年四月十五日
第一二	收穫皆無地免租表	翌年度二月十五日
第一三	收穫皆無地地租年賦延納額表	翌年度二月十五日
第一四	地價最高最低表	其ノ年二月末日
第一五	土地取扱筆數表	翌年度四月末日
第一六	土地買價價格表	翌年度二月末日
第一七	土地賃貸價格表	翌年度二月末日
第一〇	第三種所得種類別表	其ノ年十一月末日
第二一	第三種所得調查決定額表	翌年度五月末日
第二二	第一種第三種所得審查決定額表	翌年度五月末日
第二三	第一種第三種所得更定額表	翌年度五月末日
第二四	第一種第三種所得稅納額別人員表	其ノ年五月十五日
第二五	營業稅算定額表	其ノ年六月末日
第二六	營業稅審查決定額表	翌年度五月末日
第二七	營業稅訴訟額表	翌年度五月末日
第二八	營業稅法第二十九條ニ依ル決定額表	翌年度五月末日
第二九	營業稅納額別人員表	其ノ年六月末日
第三四	相續稅納額別人員表	翌年度五月十五日

第三七	相續稅審查決定額表	翌年度五月十五日
第三八	相續稅訴訟額表ニ依ル決定額表	翌年度五月十五日
第四二	酒造免許場數造石高區分表	翌年度七月末日
第四四	酒造稅納稅保證種別表	其ノ酒造年度七月末日
第四八	燒酎歩合表	翌年度十一月末日
第五五	甘蔗植付段別收穫高及製糖高表	其ノ年十一月末日
第六三	醬油製造場數造石高區分表	翌年度三月末日
第六四	一月一日現在持越醬油石高表	翌年度三月末日
第六七	賣藥稅表	其ノ年二月末日
第六八	賣藥稅免除表	翌年度五月十五日
第六九	鑛業稅表	翌年度五月十五日
第七〇	砂鑛區稅表	翌年度五月十五日
第八一	租稅賦課及調定額表	翌年度五月十五日
第八二	國稅徵收表	翌年度九月末日
第八三	國稅納期別收入歩合表	翌年度九月末日
第八五	國稅滯納表	翌年度九月末日
第八六	直接國稅犯則者表	翌年度九月末日
第八七	間接國稅犯則者表	翌年度九月末日
第八八	間接國稅犯則行為別人員表	翌年度九月末日
第九〇	物價表	翌年度三月末日

〔參照〕

明治三十六年九月二日大藏省訓令第三十九號ハ本號ト同伴ナリ



○大藏省訓令第四號

明治三十六年六月大藏省訓令第三十一號稅務統計臺帳編製規程中各表ノ番號及順位ヲ左ノ通改正シ  
 明治四十五年度以後ノ稅務統計臺帳ヨリ之ヲ適用ス  
 明治四十四年二月大藏省訓令第三號中各表ノ番號及順位ハ前項各表中該當スルモノノ番號及順位ト  
 同一ニ變更セラレタルモノトス

稅務監督局 稅務署

明治四十四年二月二十四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

- | 番號  | 表名            |
|-----|---------------|
| 第一  | 管區表           |
| 第二  | 有租地表          |
| 第三  | 免租地表          |
| 第四  | 年期地表          |
| 第五  | 變換地表          |
| 第六  | 整理地表          |
| 第七  | 地租増減表         |
| 第八  | 地租納額別人員表      |
| 第九  | 收穫皆無地免租表      |
| 第一〇 | 收穫皆無地地租年賦延納額表 |
| 第一一 | 地租延納年賦額表      |
| 第一二 | 地價最高最低表       |
| 第一三 | 土地買賣價格表       |

- |     |                  |
|-----|------------------|
| 第一四 | 土地貸賃價格表          |
| 第一五 | 土地取扱筆數表          |
| 第一六 | 所得稅表             |
| 第一七 | 第二種所得種類別表        |
| 第一八 | 第三種所得調查決定額表      |
| 第一九 | 第一種第三種所得審查決定額表   |
| 第二〇 | 第一種第二種所得更定額表     |
| 第二一 | 第一種第三種所得稅納額別人員表  |
| 第二二 | 營業稅表             |
| 第二三 | 營業稅算定額表          |
| 第二四 | 營業稅審查決定額表        |
| 第二五 | 營業稅訴願訴訟ニ依ル決定額表   |
| 第二六 | 營業稅法第二十九條ニ依ル更定額表 |
| 第二七 | 營業稅納額別人員表        |
| 第二八 | 會社表              |
| 第二九 | 相續稅表             |
| 第三〇 | 相續稅免除表           |
| 第三一 | 相續稅審查決定額表        |
| 第三二 | 相續稅訴願訴訟ニ依ル決定額表   |
| 第三三 | 相續稅年賦延納額表        |
| 第三四 | 相續稅納額別人員表        |



- 第三五 相續開始徵及課稅區分表
- 第三六 通行稅表
- 第三七 鑛業稅表
- 第三八 砂鑛區稅表
- 第三九 酒造稅表
- 第四〇 酒造稅免除表
- 第四一 酒類藏出高表
- 第四二 十月一日現在持越酒類石高表
- 第四三 酒造免許場徵造石高區分表
- 第四四 清酒步合表
- 第四五 燒酎步合表
- 第四六 酒造稅納稅保證種別表
- 第四七 酒母釀及麴製造表
- 第四八 酒精及酒精含有飲料稅表
- 第四九 酒精及酒精含有飲料稅免除表
- 第五〇 工業用酒精酒類其他酒精含有飲料稅表
- 第五一 麥酒稅表
- 第五二 麥酒稅免除表
- 第五三 三月一日現在持越酒精酒類含有飲料麥酒石高表
- 第五四 課稅外葡萄酒、果實酒製造場徵及石高表
- 第五五 醬油稅表

- 第五六 醬油稅免除表
- 第五七 醬油製造場徵造石高區分表
- 第五八 一月一日現在持越醬油石高表
- 第五九 醬油步合表
- 第六〇 家用醬油稅表
- 第六一 砂糖消費稅表
- 第六二 砂糖消費稅徵收區分表
- 第六三 砂糖製造人買場徵表
- 第六四 甘蔗植付段別、收穫高及製糖高表
- 第六五 輸入原料砂糖稅表
- 第六六 煉乳原料砂糖稅表
- 第六七 織物消費稅表
- 第六八 織物消費稅徵收區分表
- 第六九 織物消費稅免除表
- 第七〇 織物製造販賣戶徵表
- 第七一 織物交付金表
- 第七二 石油消費稅表
- 第七三 石油消費稅徵收區分表
- 第七四 石油消費稅免除表
- 第七五 石油製造販賣戶徵表
- 第七六 賣藥稅表



- 第七七 賣藥稅免除表
- 第七八 登錄稅表
- 第七九 稅印押捺表
- 第八〇 取引所稅表
- 第八一 骨牌稅表
- 第八二 骨牌稅免除表
- 第八三 租稅賦課及調定額表
- 第八四 國稅徵收表
- 第八五 國稅納期別收入歩合表
- 第八六 國稅滯納表
- 第八七 直接稅負擔額表
- 第八八 直接國稅犯則者表
- 第八九 間接國稅犯則者表
- 第九〇 間接國稅犯則行為別人員表
- 第九一 租稅外諸收入表
- 第九二 內國稅徵收費現計額表
- 第九三 內國稅徵收費稅別表
- 第九四 物價表

○大藏省訓令第五號

明治三十六年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>日大藏省訓令第三十一號稅務統計臺帳樣式中租稅賦課及調定額表ニ準<sup>レ</sup>砂糖消費

稅關

稅織物消費稅、石油消費稅、關稅、噸稅、賦課及調定額表ヲ調製シ翌年度九月末日迄ニ主稅局ニ送付スヘシ

明治四十一年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>日大藏省訓令第三十六號ハ之ヲ廢止ス

明治四十四年二月二十四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

〔參照〕

明治四十一年<sup>六</sup>月<sup>六</sup>日大藏省訓令第三十六號ハ稅務統計臺帳樣式ニ準<sup>テ</sup>調製スヘキ諸表送付期應指定ノ件ナリ

○陸軍省訓令第二號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス

陸軍一般

明治四十四年二月十三日

陸軍大臣 子爵寺內正毅

歲出經常部

△印増設

款	項	目	節
軍 費	修 繕 費	不位	
		軍用船舶修理費	
		歩兵第四聯隊兵舍	
		其他履修費	
		假島檢疫所建築物	
		根修繕	
		豐橋屯在各部隊并	
		戸側修繕	

明治四十四年二月 訓令 陸軍省第二號







步戻金其ノ他ハ之ヲ受クヘキ者ノ名義ヲ以テ可成各自ノ貯金ヲラシムヘキ方法ヲ執ラシムヘキ  
 第五 共同製造ニ付テハ組合ハ共同ニ使用スヘキ製造所又ハ製造用器具ヲ設備シ之ヲ組合員ニ使  
 用セシムルヲ要旨トスヘキ  
 第六 漁業資本ノ供給ヲ爲スニハ組合ハ組合共同貯金其ノ他組合ノ資産ヲ以テ之ニ充テ必要ナル  
 トキハ尙組合ノ借入金ヲ以テ之ニ充テシムヘキモ事業ノ程度及組合員ノ信用勸勉ニ注意シ資金  
 回收ニ付確實ナル方法ヲ採ラシムヘキ  
 第七 賣上高ノ幾部ノ取纏其ノ他ノ方法ニ依リ組合員ノ貯金ヲ獎勵且實行セシムルコトハ必要ナ  
 リト雖共ノ貯金ハ組合ニテ之ヲ預ラス直ニ組合員ノ名義ヲ以テ郵便貯金 銀行其ノ他確實ナル  
 預リ主ニ預入レンシムヘキ  
 第八 漁業組合又ハ漁業組合聯合會ノ負債ヲ起スコトノ認可ヲ與ヘタルトキハ起債ヲ爲ス事由起  
 債金額及償却ノ方法ヲ記載シ直ニ之ヲ報告スヘキ  
 ○農商務省訓令第二號

林區署管内旅費規則中左ノ通告正シ明治四十四年三月一日ヨリ施行ス

大林區署

明治四十四年二月二十八日

農商務大臣 男爵大浦兼武

第七條中「甲號表」ノ下ニ「及丁號表」ヲ加フ  
 第九條ノ二中「甲號表」ノ下ニ「及丁號表」内國旅費規則」ノ下ニ「及明治四十三年」ハ會第二九〇號連第  
 一號表」ヲ加フ

〔參照〕

農商務省訓令第二十二號林區署管内旅費規則(明治四十三年七月二日抄録)  
 第七條 小林區署管内各號ノ一ニ該當スル用器ニ依リ其ノ管内ニ出賃シタルトキハ甲號表ノ旅費ヲ支給ス  
 第九條ノ二 在動地内ノ出張ニシテ陸路二里以上ニ涉ルトキハ甲號表同五里以上ニ涉ルトキハ内國旅費規則ノ定額中額  
 以內ノ日當ヲ支給スルコトヲ得

○朝鮮總督府訓令第六號(官報二月一日)

海港檢疫手續左ノ通定ム

朝鮮總督府稅關

明治四十四年一月二十四日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

海港檢疫手續

第一條 檢疫ヲ施行スル傳染病ハ虎列刺、猩紅熱、ペスト、黃熱トス其ノ他ノ傳染病ニ對シ臨時檢  
 疫ヲ施行スルトキハ更ニ之ヲ指定ス  
 第二條 船舶其ノ他ノ消毒ヲ要スル場合ニ於テ其ノ港ニ消毒ノ設備ナキカ又ハ他ノ事故ニ依リ之  
 ヲ施行シ能ハサルトキハ檢疫官吏ハ消毒ノ爲共ノ船舶ヲ他ノ港ニ回航セシムヘキ  
 第三條 航海中傳染病患者若ハ死者アリタルトキ又ハ現ニ傳染病患者若ハ死者アルトキハ消毒方  
 法又ハ鼠族驅除ノ施行ヲ了リタル時ヨリ起算シ船客及乗組員停留ノ期間ハ「ペスト」ハ十日間、虎  
 列刺、黃熱ハ五日間トス  
 前項以外ノ場合ニ於テハ傳染病流行地ヲ發シ若ハ其ノ地ヲ經過シ又ハ傳染病ニ汚染シタルト  
 認ムヘキ事實アリタル時ヨリ起算シ前項ノ期間ニ充ツル迄共ノ船客及乗組員ヲ停留セシムヘキ  
 停船中ト雖消毒方法ヲ施行シタル後ニ於テハ檢疫官吏ハ停留ノ必要ナシト認ムル船客及乗組員  
 ノ上陸又ハ物件ノ陸揚ヲ許可スルコトヲ得  
 前項ノ場合ニ於テ檢疫官吏ハ防疫ノ必要上相當ノ條件ヲ附スルコトヲ得  
 第四條 停船中ト雖鼠族ノ驅除ヲ施行シタル後ニ於テハ檢疫官吏ハ病毒傳播ノ虞ナキ貨物ニ對シ  
 消毒方法ヲ施行セスシテ相當ノ條件ヲ附シ共ノ陸揚ヲ許可スルコトヲ得  
 第五條 傳染病及其ノ疑アル患者ハ檢疫所ノ病院ニ入ラシムルコトヲ得但シ猩紅熱患者ハ其ノ請求ニ依  
 リ相當ノ設備アル他ノ病院ニ入ラシムルコトヲ得



第六條 檢疫所ニ停留セシメタル船客及乗組員ニ傳染病ヲ發生シタルトキハ其ノ全部若ハ一部ノ人員ニ對シ更ニ第三條第一項ノ期間停留ヲ繼續スヘシ

第七條 死體ハ病毒傳播ノ虞ナキ方法ニ依リ火葬又ハ埋葬スヘシ其ノ火葬ニ付シタルトキハ遺骨ハ引取人又ハ船長若ハ其ノ代理人ニ引渡シ若引取人、船長若ハ其ノ代理人アツサルトキ又ハ引取ヲ拒ムトキハ適當ノ場所ニ埋葬スヘシ

親族又ハ縁故アル者ヨリ死體引渡ヲ願出タルトキハ病毒傳播ノ虞ナレト認ムル場合ニ限り之ヲ許可スルコトヲ得

第八條 停船中ノ船舶ニシテ特別ノ事情ニ依リ外國ニ航行セムコトヲ船長又ハ其ノ代理人ヨリ請求シタルトキハ消毒方法又ハ鼠族ノ驅除ヲ施行シタル後相當ノ設備アル船舶ニ限り檢疫官吏ハ相當ノ條件ヲ附シテ之ヲ許可スルコトヲ得

檢疫ヲ施行スル帝國内ノ他港ニ進航セムコトヲ請求スル場合ニ於テ其ノ到着前停船期間ヲ滿了スヘキトキ亦前項ニ同シ

第九條 明治四十四年制令第一號第一條第二號ノ處分ヲ受ケタル船舶ニ對シテハ同一航海中再ヒ同一ノ處分ヲ行ハサルモノトス

前項ノ船舶ニ對シテハ船長又ハ其ノ代理人ノ請求ニ依リ處分濟ノ證ヲ交付スヘシ

第十條 前各條ノ外檢疫施行ニ關シテハ明治三十二年內務省訓令第二十六號船舶檢疫手續ニ準據スヘシ

○朝鮮總督府訓令第七號(官報二月六日)

明治四十四年一月三十一日限殘務取扱ヲ解カレタルモノト心得ヘシ

韓國內府殘務取扱職員  
朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府訓令第八號(官報二月七日)

地方費賦課金徵收ノ費用トシテ國庫ニ納付スヘキ金額ハ一年度中ニ地方費取扱銀行ニ納付シタル地方費賦課金徵收總額ニ依リ其ノ年度ノ末日ニ於テ道ニ對シ朝鮮撥入(款)雜收入(項)ノ撥入科目ヲ以テ納入告知書ヲ發シ徵收スヘシ

道收入徵收官

明治四十四年一月三十一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府訓令第九號(官報二月七日)

朝鮮總督府地方官官制第二十三條ニ依リ各道及各府郡ニ參事ヲ置キ其ノ定員ハ道ニ在リテハ三人、府郡ニ在リテハ二人トス

道府郡

明治四十四年二月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

道府郡參事手當支給ニ關スル件左ノ通定ス

道府郡

明治四十四年二月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一條 道參事ノ手當ハ年額百圓以内、府郡參事ノ手當ハ年額六十圓以内トス

第二條 前條ノ手當ハ四月ヨリ九月ニ至ル六箇月分ハ九月ニ、十月ヨリ翌年三月ニ至ル六箇月分ハ三月ニ支給ス

新ニ命シタル者ノ手當ハ當月分ヨリ、退職又ハ死亡シタル者ノ手當ハ其ノ際當月分迄ヲ月割計算ヲ以テ支給ス

手當増減ノ場合ハ發令ノ翌日ヨリ日割計算ヲ以テ支給ス



第三條 道府郡參事公務ニ依リ旅行スルトキハ旅行手當トシテ一日二圓ヲ支給ス但シ宿泊セサル日ハ一圓ヲ支給ス

旅行ハ一日ノ行程七里以上トシ水路五海里、鐵道八哩ヲ以テ陸路一里ニ換算ス但シ特別ノ事由アルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條 勤務地二里以内ニ居住スル道府郡參事ニハ前條ノ旅行手當ヲ支給セス但シ勤務日數ニ應ジ一日一圓ノ勤務手當ヲ支給ス

○朝鮮總督府訓令第十一號(官報二月七日)

道府參事諮問會ニ關スル件左ノ通改ム

明治四十四年二月一日

第一條 道長官ハ土地ノ狀況ニ應ジ數府郡ヲ以テ一區域トシテ定時又ハ臨時ニ府郡參事ヲ招集シ諮問會ヲ開クコトヲ得

朝鮮總督 子爵寺內正毅

道府郡

第二條 道府參事諮問會ハ道長官ノ諮問ニ應ジ意見ヲ開申スヘク又道長官ニ對シ地方ノ狀況及之ニ關スル意見ヲ上申スルコトヲ得

第三條 道府參事諮問會ノ事務ハ道長官又ハ道長官ノ命シタル官吏之ヲ掌理ス

第四條 道府參事諮問會ニ於テ地方官吏及道參事ハ道長官ノ命ヲ承ケ之ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

○朝鮮總督府訓令第十二號(官報二月七日)

面長協議會ニ關スル件左ノ通定ム

明治四十四年二月一日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

道府郡

第一條 府尹郡守ハ定時又ハ臨時ニ面長ヲ招集シ協議會ヲ開クコトヲ得

第二條 面長協議會ハ府尹若ハ郡守ノ諮問ニ應ジ意見ヲ開申スヘク又府尹若ハ郡守ニ對シ面内ノ狀況及之ニ關スル意見ヲ上申スルコトヲ得

第三條 面長協議會ノ事務ハ府尹郡守又ハ府尹郡守ノ命シタル官吏之ヲ掌理ス

第四條 面長協議會ニ出席シタル面長ニハ出席日數ニ應ジ日當五十錢ヲ支給ス

○朝鮮總督府訓令第十三號(官報二月八日)

本府各部署課又ハ其ノ職員ノ名ヲ以テ多數ノ所屬官署又ハ其ノ職員等ニ對シ同文通牒等ヲ發スル場合ニ於テハ秘密ヲ要スルモノヲ除クノ外別ニ公文ヲ用井ス

明治四十四年二月二日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

○朝鮮總督府訓令第十四號(官報二月十三日)

朝鮮總督府勸業模範場事務分掌規程中左ノ通改正ス

明治四十四年二月六日

朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

龍山支場ニ女子蠶業講習所ヲ置ク

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

女子蠶業講習所ニ所長ヲ置キ龍山支場長ヲ以テ之ニ充ツ

第十條 女子蠶業講習所ニ關スル規定ハ總督ノ認可ヲ經テ場長之ヲ定ム

○朝鮮總督府訓令第十五號(官報二月二十三日)

朝鮮總督府所屬官廳會計事務章程中左ノ通改正ス

明治四十四年二月十八日

朝鮮總督 子爵寺內正毅



附屬書式第十二條備考ニ左ノ二項ヲ追加ス

仕拂命令濟額中定額戻入ヲ爲シタルモノアルトキハ本月分欄ノ金額ヨリ之ヲ控除シ備考欄ニ定額戻入金何程ト掲記スヘシ

仕拂命令濟額中誤謬訂正又ハ科目更正ヲ爲シタルモノアルトキハ本月分欄ノ金額ニ於テ之ヲ増減シ備考欄ニ誤謬又ハ更正、増減金何程ト掲記スヘシ

○朝鮮總督府訓令第十六號(官報二月二十八日) 朝鮮總督府統計事務取扱方左ノ通定ス

明治四十四年二月二十二日

朝鮮總督 子爵寺内正毅

朝鮮總督府統計事務取扱方

第一條 朝鮮總督府所管ノ事項ニ關スル統計ハ總務部文書課備付ノ統計彙帳ニ記入シ同課長之ヲ整理編纂スヘシ

統計彙帳ノ記入ハ曆年又ハ年度毎ニ之ヲ區分ス

第二條 統計彙帳及統計ニ關スル諸表ノ様式ハ文書課長關係部局ニ合議ノ上決裁ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第三條 朝鮮總督府各部局及所屬官署ニ統計主任ヲ置キ各主管ニ係ル統計材料蒐集ノ責ニ任セシム

統計主任ハ委任官又ハ判任官中ヨリ所屬長官之ヲ命シ其ノ官氏名ヲ文書課長ニ通知スヘシ

第四條 統計主任ハ報告書其ノ他所定ノ様式ニ依リ統計材料ヲ編纂スヘシ

第五條 統計主任ハ統計諸表編製ノ爲蒐集シタル材料ヲ編纂保存スヘシ

第六條 文書課長ハ統計事務ニ關シ統計主任ニ直接交渉ヲ爲スコトヲ得

第七條 朝鮮總督府各部局ヨリ統計事項ニ關シ外部ト往復ヲ要スル場合ニ於テハ之ヲ文書課長ニ請求スヘシ

第八條 朝鮮總督府各部局及所屬官署ヨリ總督及政務總監ニ呈出スル統計書類ハ文書課長ヲ經由スヘシ

○内務省訓令第二號

府縣 沖繩

從來公稱スル市町村内地ノ字名ハ明治十四年第八十三號公達ノ趣旨ニ依リ容易ニ改稱變更スヘキモノニアラサルモ已ムヲ得サル事實アリテ改稱變更ヲ必要トスルモノニ限リ左ノ規定ニ依リ取扱フヘシ

一 市町村内地大字名市制町村制施行ノ際分合シタル舊町村名編纂及市内ノ町名ヲ改稱シ又ハ其ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ市町村會之ヲ議決シ府縣知事ノ許可ヲ受テヘシ但シ町村ニ屬スルモノハ島司、郡長ヲ經由シ島司、郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

二 市町村内地小字名市制町村制施行ノ際分合シタル舊小字名編纂及市内ノ町名ヲ改稱シ又ハ其ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ市町村會之ヲ議決シ府縣知事ノ許可ヲ受テヘシ但シ町村ニ屬スルモノハ島司、郡長ヲ經由シ島司、郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

三 前項ノ場合ニ於テ其ノ區域全部カ國有林野ニ屬スルトキハ府縣知事之ヲ處分シ若シ其ノ區域カ國有林野ノ外民有地ニ屬スルトキハ關係アル市町村會及民有地主ノ意見ヲ聞キ府縣知事之ヲ處分スヘシ但シ本項ノ處分ハ直ニ之ヲ關係市町村ニ通知スヘシ

四 耕地整理施行ノ爲市町村内地大字若ハ字ノ名稱ヲ改メ又ハ其ノ區域ヲ變更スルノ必要アルトキハ關係アル市町村會ノ意見ヲ聞キ府縣知事之ヲ處分スヘシ但シ本項ノ處分ハ直ニ之ヲ關係市町村ニ通知スヘシ

五 水面埋立地其ノ他新開地等新ニ字名稱ヲ付スルトキハ第二項ノ例ニ依ルヘシ

六 市町村ノ境界ニ關スル爭論ノ裁決及民事訴訟ノ判決ニ依リ字名ノ訂正又ハ其ノ區域ヲ變更ス



ヘキトキハ市參事會町村長第七項ノ島嶼ニ在リテハ町村ヨリ府縣知事ニ申報セシムヘレ但シ町村ニ屬スルモノハ島司郡長ヲ經由スヘシ

七 東京府伊豆七島ノ内八丈島及大島ヲ除ク外並小笠原島ニ於テハ仍從前ノ手續ニ依ル其ノ小字ノ名稱及區域ニ關スルモノハ府知事ニ於テ處分スヘシ

八 第一項乃至第五項及第七項ノ許可又ハ處分ヲ爲シタルトキ並第六項ノ申報ヲ受ケタルトキハ府縣知事ハ直ニ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

○内務省訓令第三號

明治四十四年三月十五日 内務大臣 法學博士男爵平田東助

沖繩縣

從來公稱スル區町村内地ノ字名ハ明治十四年第八十三號公達ノ趣旨ニ依リ容易ニ改稱變更スヘキモノニアラサルモ已ムヲ得サル事實アリテ改稱變更ヲ必要トスルモノニ限リ左ノ規定ニ依リ取扱フヘシ

一 區町村内地ノ字名ヲ改稱シ又ハ其ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ區町村會之ヲ議決シ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ町村ニ屬スルモノハ島司郡長ヲ經由シ島司郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

二 區町村内地ノ小字名ヲ改稱シ又ハ其ノ區域ノ變更ヲ要スルトキハ關係アル地主ノ意見ヲ聞キ區町村會之ヲ議決シ縣知事ノ許可ヲ受クヘシ但シ町村ニ屬スルモノハ島司郡長ヲ經由シ島司郡長ハ意見ヲ副申スヘシ

三 水面埋立地其ノ他新開地等新ニ字及小字ノ名稱ヲ付スルトキハ前二項ノ例ニ依ルヘシ

四 前各項ノ許可又ハ處分ヲ爲シタルトキハ縣知事ハ直ニ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

明治四十四年三月十五日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省訓令第四號

從來公稱スル區町村内地ノ字名ハ容易ニ改稱變更スヘキモノニアラサルモ已ムヲ得サル事由アリテ其ノ改稱變更ヲ必要トシ又新開地等ニテ新ニ字名ノ設定ヲ要スルトキハ北海道廳長官之ヲ定ムヘシ

北海道廳

前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ直ニ官報ヲ以テ公告スヘシ

明治四十四年三月十五日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

○内務省訓令第五號

國幣社例祭ノ節供進スヘキ幣帛神饌料本年四月一日ヨリ左ノ通り改定ス

明治四十四年三月二十日

内務大臣 法學博士男爵平田東助

國幣中社	金四拾圓	幣帛料	幣帛料
國幣小社	金貳拾圓	幣帛料	幣帛料
	金貳拾圓	神饌料	神饌料

○大藏省訓令第六號

宅地地價修正法ニ依ル修正地價ノ確定額ニ付稅務署ヨリ通知アリタルトキハ左記ノ區分ニ從ヒ市

北海道廳 府縣



(北海道及沖繩縣)町村ニ於ケル地租名寄帳記載事項ノ更正手續ヲ爲サシムヘシ  
明治四十四年三月六日 大藏大臣 侯爵桂太郎

- 一 元地價ハ朱線ヲ以テ抹消シ修正地價ヲ其ノ右傍ニ記載スルモノトス但シ元郡村宅地ノ地目ヲ有シタルモノニ在リテハ段別ヲモ本文ノ例ニ準シテ坪數ニ更正スルモノトス
- 二 同一人ニシテ同一市町村内ニ於テ元市街宅地租及元郡村宅地租ノ納稅義務ヲ併有セルモノニ在リテハ第一項ノ處理ヲ爲シタル後元市街宅地租ハ元郡村宅地租何レカ一方ノ用紙ニ更正額及之ニ關スル要件ヲ移記シ一方ノ用紙ノ記載事項ハ之ヲ抹消スルモノトス
- 三 前二項ニ依リ難キ事情アル市町村ニ於テハ所轄稅務署長ト協議シ便宜適實ノ方法ニ依リ地租名寄帳ノ更正處理ヲ爲スモ妨ナシ
- 四 宅地地價修正法第十八條ニ依ル修正地價及第二十二條ニ依ル更正地價ニ付テハ前各項ニ準レ更正ヲ爲スヲ要ス
- 五 前各項ニ依リ段別及地價ノ更正ヲ爲シタルトキハ其ノ集計額ヲ所轄稅務署ニ報告シ土地名帳現在額トノ對照校査ヲ求ムヘシ

○大藏省訓令第七號

府縣稅及北海道地方稅滯納處分ニ關スル事項左記様式ニ依リ報告表ヲ調製シ翌年度十月末日迄ニ提出スヘシ  
北海道廳 府縣

明治三十四年八月大藏省訓令第三十號及明治三十六年十月大藏省訓令第四十三號ハ之ヲ廢止ス  
明治四十四年三月九日 大藏大臣 侯爵桂太郎

府縣稅(北海道地方稅)滯納表

明治何年度

本年度分(既往年度分)

廳 名



府縣稅(北海道)

種別	滞納		督促狀發付前納付		督促狀發付		財産差押前納付		財産差押	
	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額
地稅										
租業種										
割稅稅										
合計										

地方稅)滞納表

處分執行前納付		處分執行徴		税金缺損		翌年度へ繰		備考
人員	税額	人員	税額	人員	税額	人員	税額	
								(一)用紙ハ西洋紙又ハ嚮沙引美濃 横線紙トシ約七分ノ級代ヲ存 シ亞刺比亞數字ヲ以テ記入ス ルモノトス (二)會計年度ニ依リ翌年度七月末 日迄ニ處分セシ結果ヲ掲グル モノトス但シ税額ハ四捨五入 シテ圓位ニ止メ内附ト合計ト フ符合セシムヘシ (三)二日以上ノ税金ヲ滞納セシ者 ノ人員ハ金額ノ多キ方ニ掲ケ 他ハ亦書スルモノトス (四)滞納税金ノ一部ハ徴收シ他ハ 缺損又ハ繰越トナリタル者ノ 人員ハ各一人トシテ計算スル モノトス (五)督促狀ヲ發セシテ財産差押 フ爲シタルモノハ財産差押欄 ニ内書スルモノトス (六)既往年度分ハ別表ト爲シ滞納 以下ノ三欄ヲ削リ(既往年度 〇リ繰越)ノ一欄ヲ設ケルモ ノトス



書 面 之 通 候 也  
 明 治 年 月 日  
 官 氏 名 印  
 大 藏 大 臣 宛

〔参照〕

明治三十四年八月 大藏省訓令第三十號ハ府縣稅捐納成分報告表書式同三十六年十月ニ大藏省訓令第四十三號ハ北海道地方稅捐納成分報告表調製ノ件ナリ

○大藏省訓令第八號

明治二十六年十一月 大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程中左ノ通改正シ明治四十四年度分ヨリ施行ス

出納官吏 金庫出納役

明治四十四年三月十日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第四十條 各地本金庫收支金報告額整理簿ハ現金出納原簿ノ科目中各地本金庫又ハ其ノ所屬支金庫ニ收支額アル分(現金運轉配賦ニ關スル各科目ヲ除ク)毎ニ之ヲ設ケ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送付スル收支金報告表ニ據リ其ノ收支額ヲ登記シ置キ追テ每月出納計算書ヲ受ケタルトキ之ヲ對照整理スヘシ其ノ書式第八號ノ如シ

但シ支金庫ニ於テ甲月中ニ收支シタル金額ヲ本金庫乙月分ノ計算ニ編入シタル分ニ對シテハ各本金庫ヨリ其ノ金額ヲ報告セシメ本文對照ノ用ニ供スヘシ

第四十七條中「各地本金庫收支金報告額整理簿」ヲ削リ左ノ一項ヲ追加ス

各地本金庫收支金報告額整理簿ハ歲入又ハ歲出ニ關スル各科目ニ係ル分ハ一會計年度ノ出納完結ニ至ル迄貫通シテ登記シ其ノ他ノ科目ニ係ル分ハ各會計年度毎ニ之ヲ改置スヘシ

明治四十四年三月 訓令 大藏省第八號



第八號書式

某年度  
各地本金庫收支金報告額整理簿

某年度 歳入

又ハ何 +

中央金庫

備考  
一 本簿ハ概宜各科目分ア合算トシテ設置スル  
一 歳入又ハ歳出ニ關スル科目ニ係ル分ハ上段  
一 某年度ノ文字ヲ要セス

(△印及備考文ハ未書)

○大藏省訓令第九號

何地本金庫 1.

年月日	摘要	収支金額 後年月日		借	貸	借或貸	種
		何	何				
	更正納			0,000	0,000	貸	0,000
	更正納						

備考  
支金庫ニ於テ甲月中ニ收支シタル金額ヲ本金庫乙月分  
ノ計算ニ加入シタル分ニ對シテハ本金庫ヨリ其金額ヲ  
報告セルモノトス  
照スルモノトス  
加除シテハ毎月出納計算書ト對

出納官吏 金庫出納役



明治四十年<sup>六</sup>大藏省訓令第三十二號作業會計並ニ海軍工廠資金會計金庫出納事務規程中第九條第一號、第十條及附屬第一號書式ヲ削除シ第十四條中「各地本金庫作業(海軍工廠資金)收支金報告額整理簿、作業(海軍工廠資金)入金各廳内譯簿、作業(海軍工廠資金)歳出仕拂元受高差引簿、合計額ヲ作業會計並ニ海軍工廠資金會計ノ歳入及歳出仕拂元金ノ收支額ニ改メ明治四十四年度分ニ施行ス

明治四十四年三月十日  
○大藏省訓令第十號

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十二年<sup>三</sup>大藏省訓令第九號帝國鐵道會計金庫出納事務規程中第十二條第二項及第十六條ヲ削除ス

明治四十四年三月十日  
○大藏省訓令第十一號

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十二年<sup>三</sup>大藏省訓令第十號韓國鐵道及同用品資金會計金庫出納事務規程中第十一條及第十二條ヲ削除シ第十三條中「韓國鐵道資本勘定(韓國鐵道收益勘定)(韓國鐵道用品資金)收支金報告額整理簿ニ依リ其收支額ヲ韓國鐵道及同用品資金會計歳入金、歳出金及歳出仕拂元金ノ收支額ニ改メ明治四十四年度分ヨリ施行ス

明治四十四年三月十日  
○大藏省訓令第十二號

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十年<sup>三</sup>大藏省訓令第十五號帝國大學特別會計並ニ學校及圖書館特別會計金庫出納事務規程

出納官吏 金庫出納役  
大藏大臣 侯爵桂太郎

中第五條第一號、第六條及附屬第一號書式ヲ削除シ第十條中「各地本金庫帝國大學(學校及圖書館)收支金報告額整理簿、帝國大學(學校及圖書館)歳入金各廳内譯簿、帝國大學(學校及圖書館)歳出仕拂元受高差引簿、合計額ヲ帝國大學特別會計並ニ學校及圖書館特別會計ノ歳入及歳出仕拂元金ノ收支額ニ改メ明治四十四年度分ヨリ施行ス

明治四十四年三月十日  
○大藏省訓令第十三號

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治二十六年<sup>九</sup>大藏省訓令第三十二號預金保管物及供託物金庫出納事務規程中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

金庫出納役

明治四十四年三月十日

大藏大臣 侯爵桂太郎

第二十一條第二項ニ左ノ通追加シ同項第二號ヲ第三號ニ改メ第三項中「有價証券受拂總括簿」ノ下ニ「各地本金庫有價証券受拂報告額整理簿」ヲ加フ

第二十二條中「各本金庫及」收支金報告表」ヲ削リ「各金庫毎ニ」ヲ「各支金庫毎ニ」ニ改ム

第二十四條ノ二「各地本金庫有價証券受拂報告額整理簿」ハ有價証券受拂總括簿ノ科目中各地本金庫又ハ其ノ所屬支金庫ニ受拂アル分毎ニ之ヲ設ケ各本金庫ヲ區分シ共ノ集計表ニ依リ受拂ヲ登記シ置キ追テ毎日出納計算書ヲ受ケタルトキ之ヲ對照整理スヘシ

但シ支金庫ニ於テ甲月中ニ受拂ヲ爲シタル分ヲ本金庫乙月分ノ計算ニ編入シタル分ニ對シテハ各本金庫ヨリ之ヲ報告セシメ本文對照ノ用ニ供スヘシ

第二十五條中「各本金庫及」ヲ削リ「各金庫毎ニ」ヲ「各支金庫毎ニ」ニ改ム  
第六號書式ノ一及二中「何地本金庫」ノ部ヲ削ル







○大藏省訓令第十四號

明治四十三年三月大藏省訓令第五號內國稅徵收費科目中俸給ノ項勅任俸給ノ目及局長ノ節ノ順位ヲ同項内ノ首位ニ改メ明治四十四年度分ヨリ施行ス

稅務監督局

明治四十四年三月二十四日

大藏大臣 侯爵桂太郎

○大藏省訓令第十五號

警視廳 北海道廳 府 縣 大臣官房會計課  
造幣局 印刷局 專賣局 稅務監督局 關  
稅務監督局 稅務署 釀造試驗所 大藏省臨時建築部  
明治四十四年度大藏省所管歲入科目表左ノ通之ヲ定ム  
但本科目中適合セサル收入アルトキハ其ノ時時設置方申出ツヘシ

明治四十四年三月二十八日

大藏大臣 侯爵桂太郎

明治四十四年度大藏省所管歲入科目表

歲入經常部

第一款 租	稅
第一項 地	租
	第一目 田
	第二目 畑
	第三目 宅
	第四目 雜
	地
	租

	第五日 延納年賦
第二項 所得	第六目 買賣地租延納
稅	第一目 所得
第三項 營業	第一目 營業
稅	第一目 營業
第四項 相續	第一目 相續
稅	第一目 相續
第五項 通行	第一目 通行
稅	第一目 通行
第六項 礦業	第一目 礦業
稅	第一目 礦業
	第二目 採掘礦區稅
	第三目 吹灌礦區稅
	第四目 砂礦區稅
第七項 兌換銀行券發行稅	第一目 兌換銀行券發行稅







第四款 雜 收 入											
第三項 國營金收入											
第十二項 約 金											
第一日 南滿洲鐵道株式會社 國營金											
第二日 朝鮮江原道株式會社 國營金											
第三日 株式會社 國營金											
第五項 官有物貸下料											
第一日 地所貸下料											
第二日 運物貸下料											
第四日 馬匹貸下料											
第五日 水面貸下料											
第六日 地所使用料											
第七日 物品使用料											
第八日 水面使用料											
第六項 印刷局益金											
第一日 印刷局益金											
第七項 專賣局益金											
第一日 專賣局益金											

第四款 雜 收 入											
第一項 免許及手数料											
第一日 免許料											
第二日 手数料											
第二項 印刷及沒收金											
第一日 罰金及料											
第二日 沒收金											
第三日 罰按國稅則者納金											
第三項 券價及違約金											
第一日 券價金											
第二日 違約金											
第四項 稅關雜收入											
第一日 稅關雜收入											
第五項 雜 入											
第一日 返納金											
第二日 關稅試驗所收入											
第六日 庫 料											







第六項 家畜拂下代	第一目 家畜拂下代
第二款 雜收入	
第二項 返納金	第一目 民衆買本金
	第二目 雜種買金
	第三目 耕種買金
	第五目 貸付金利息
第三項 清國債還金收入	第一目 債還金
	第二目 債還金利息
第三款 港河設備納付金	
第一項 港河設備納付金	第一目 振興港河設備納付金
	第二目 歸還港河設備納付金
第四款 公債募集金	

○大藏省訓令第十六號

第七款 軍艦水雷艇補充基金	第一項 軍艦水雷艇補充基金	第一目 軍艦水雷艇補充基金
	第二項 朝鮮事業費積蓄積入	第一目 朝鮮事業費積蓄積入
第八款 貨幣整理資金繰入	第一項 貨幣整理資金繰入	第一目 貨幣整理資金繰入
第九款 治水費資金繰入	第一項 治水費資金繰入	第一目 治水費資金繰入

河川法及砂防法ニ依ル府縣納付金ハ明治三十三年四月大藏省訓令第二十七號ニ依リ明治四十四年度分ヨリ大藏省所管治水費資金特別會計へ收納整理スヘシ

明治四十四年三月三十日

明治四十四年三月 附令 大藏省第十六號

大藏大臣 侯爵桂太郎

北海道廳 府縣



明治四十四年三月 訓令 陸軍省第四號 第五號

○陸軍省訓令第四號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス  
明治四十四年三月九日

歲出經常部

陸軍大臣 子爵寺內正毅  
△印増設

軍	本	費	項	目	節
			修	繕	費
				不在	
				陸軍經理學校炊事場其他修繕	

○陸軍省訓令第五號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス  
明治四十四年三月二十日

歲出經常部

陸軍大臣 子爵寺內正毅  
△印増設

軍	本	費	項	目	節
			雜	給	及
			給	與	
				不在	
				特別手當	

歲出臨時部

管	繕	費	項	目	節
			新	營	費
				不在	
				本地原演習場道路敷地土地買取	

○陸軍省訓令第六號

明治四十三年度當省所管歲入歲出科目表中左記ノ通増設ス  
明治四十四年三月二十五日

歲出臨時部

陸軍大臣 子爵寺內正毅  
△印増設

管	繕	費	項	目	節
			新	營	費
				不在	
				世出谷野砲兵營取捨敷地買取	

○文部省訓令第一號

明治四十三年文部省訓令第十三號師範學校教授要目中左ノ通改正ス  
明治四十四年三月十四日

北海道廳 府縣  
文部大臣 小松原英太郎

明治四十四年三月 訓令 陸軍省第六號 文部省第一號



歴史本科第一部男生徒ノ部日本歴史第一學年兩皇統ノ交立ヲ朝廷ト幕府ニ建武中興ヲ建武中興 足利尊氏ノ反ニ南北朝ヲ吉野ノ朝廷ニ改メ

北海通廳 府縣

學事年報取調條項及諸表様式別冊ノ通改正ス其ノ取調條項中甲款ニ係ルモノ及諸表様式中甲號並乙號ニ係ルモノハ每統計年度ノ調査ニ依リ翌年度六月十五日限其ノ乙款ニ係ルモノ及諸表様式中丙號ニ係ルモノハ每統計年度ノ調査ニ依リ翌年度十月三十一日限進達スヘシ

本令ニ統計年度トアルハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテヲ云フ

明治四十四年三月三十一日 文部大臣 小松原英太郎

學事年報取調條項

甲 款

一 管内學事ノ狀況

學事施設ノ要領及學事ノ現狀等ヲ記述スヘシ

一 學齡兒童

就學ニ關スル規則施行ノ狀況、就學督促ニ關スル特種施設事項、就學督促又ハ免除ニ關スル事由等ヲ記述スヘシ

一 小學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、學級編制、二部教授ノ狀況、公立學校ノ配置、進否ノ狀況、私立學校ノ狀況、補習科及加設科目ニ關スル狀況、九月一日ニ始マル學年ヲ限ク學校ニ關スル狀況、授業科ニ關スル狀況、教員ノ需要供給、勤課轉免、俸給、加給其ノ他待遇上ニ關スル狀況等ヲ記述スヘシ

一 幼稚園

幼稚園ノ設置、廢止及設備ノ狀況、幼児保育ノ狀況等ヲ記述スヘシ

一 盲啞學校

學校ノ設置、廢止及設備ノ狀況、生徒卒業後ノ狀況、生徒失官原因ニ關スル調査等ヲ記述スヘシ

一 師範學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別、生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否、生徒修業旅行ノ狀況、本科、豫備科入學者ノ父兄ノ職業別卒業者就職ノ狀況、附屬小學校及幼稚園ノ狀況、講習科及其ノ他臨時施設事項ニ關スル狀況等ヲ記述スヘシ

一 中學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別、生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否、生徒修業旅行ノ狀況、入學志願者ニ關スル狀況、入學者父兄ノ職業別補習科ニ關スル狀況等ヲ記述スヘシ

一 高等女學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由別、生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否、本科、實科入學者父兄ノ職業別選科、補習科、專攻科ニ關スル狀況等ヲ記述スヘシ

一 專門學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、教員ノ資格別、生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否等ヲ各校各別ニ記述スヘシ又醫學專門學校ニ在リテハ外來、入院ニ係ル學用患者ノ内科、外科、眼科、牙科、婦人科等ノ區別人員及屍體解剖數ヲモ記述スヘシ

一 實業學校

學校ノ設置、廢合及設備ノ狀況、教員ノ資格別、生徒訓育ノ狀況、生徒學業ノ進否、生徒實習及修業旅行ニ關スル狀況、學校ト實業界トノ關係等ヲ記述スヘシ但シ實業專門學校ニ係ルモノハ各校各別ニ其ノ他ノ實業學校ニ係ルモノハ學科ノ種類及程度等ニ依リ區別シテ記述スヘシ

一 各種學校

學校ノ設置、廢止及設備ノ狀況、學校維持ニ關スル狀況、授業ノ狀況等ヲ記述スヘシ

一 學校衛生

學校清潔方法施行ノ狀況、學校醫觀察ノ狀況、學校醫資格別、生徒又ハ兒童健康ノ狀況、傳染病預防及消毒ニ關スル施行ノ狀況、校舍内ニ於ケル傳染病罹病者及死亡者ノ數及其ノ原因等ヲ學校ノ種類ニ依リ區別シテ記述スヘシ



- 一 學校園、學林及樹栽
  - 學校園、學林等ノ施設ニ關スル狀況、生徒及兒童樹栽ニ關スル狀況等ヲ記述スヘシ
- 一 教員檢定及免許狀授與
  - 小學校教員檢定及小學校教員府縣免許狀授與ニ關スル狀況ヲ記述スヘシ
- 一 教員講習
  - 道府縣、市、町村及教育會等ニ於テ開催シタル教員講習會ノ種類、開會回數、日數、講習員ノ種類及其ノ數、其ノ他講習ニ關スル狀況ヲ記述スヘシ
- 一 教科用圖書
  - 教科用圖書ノ適否、需要供給ノ關係、其ノ他教科用圖書ニ係ル狀況ヲ學校ノ種類ニ依リ區別シテ記述スヘシ
- 一 圖書館
  - 圖書館ノ設置、廢止及設備ノ狀況、閱覽人ノ狀況、閱覽圖書ノ種類別、巡回圖書館ノ狀況等ヲ記述スヘシ
- 一 教育博物館
  - 教育博物館ノ設置、廢止及設備ノ狀況、觀覽人ノ狀況、陳列品ノ種類等ヲ記述スヘシ
- 一 教育品展覽會
  - 教育品展覽會開催回數及開會日數、觀覽人ノ狀況、陳列品ノ種類及開設ノ效果ヲ記述スヘシ
- 一 教育會
  - 教育會ノ組織、現在數及會員數、其ノ他事業ノ概況等ヲ記述スヘシ
- 一 青年團體
  - 青年會、夜學會等ノ教育ニ關スル施設ヲ記述スヘシ
- 一 教育ニ關スル法人
  - 文部大臣ノ主管ニ屬スル社團法人、財團法人ノ狀況ヲ記述スヘシ

- 一 府縣會、郡會及市町村會
  - 學事ニ關スル職事ノ概況ヲ記述スヘシ
- 一 學事關係職員及學事視察
  - 北海道廳、府縣廳、郡、市役所ニ於ケル學事關係職員ノ種類別人員、學事視察ニ關スル狀況、市町村學務委員職務ノ狀況等ヲ記述スヘシ
- 一 學事獎勵
  - 學事獎勵ニ關シ施行シタル事項ノ狀況及效果等ヲ記述スヘシ
- 一 將來學事施設上須要ノ件
  - 學事施設上將來須要ト認ムヘキ事項ニ關スル意見、計畫等ヲ記述スヘシ
- 以上ノ外學事ニ關シ特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
- 乙 款
  - 一 公學費及公學資産
    - 公立學校等ノ歲出入ノ狀況、學校基本財産及積立金蓄積、其ノ他維持ニ關スル狀況ヲ記述スヘシ
  - 一 教育資金
    - 教育資金貸付、貸入等ノ狀況、獎勵金支出ニ係ル種別金額等ヲ記述スヘシ
  - 一 市町村立小學校教員加俸資金
    - 市町村立小學校教員加俸令ニ依リ加俸ヲ給與シタル狀況等ヲ記述スヘシ
  - 以上ノ外學事經濟上ニ關シ特ニ申報スヘキ事項アルトキハ適宜記述スヘシ
- 本取調條項中別ニ表式アルモノニ關シテハ表式ニ示ス事項ノ計數ニ就キ若シキ増減ノ事由等ヲ各別ニ記述スヘシ























尋常高等小學校ニ於テ尋常科ヲ卒業シ其ノ學校ノ高等科ニ進入シタル者ハ尙高等科入學者ノ欄ニモ之ヲ掲クヘシ  
 一 卒業者ハ年度内ニ卒業シタル者ノ總數ヲ掲クヘシ  
 一 卒業者中修業年限三箇年ノ高等小學校ノ教科ヲ卒業シタル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 日々出席兒童平均數ハ年度内ニ於ケル日々ノ出席兒童數ヲ通算シ年度内ニ於ケル總教授日數ヲ以テ除シタル商ヲ掲クヘシ但シ計算ハ單位ノ下二位ニ止メ四捨五入スヘシ  
 一 日々缺席兒童平均數ハ年度内ニ於ケル日々ノ缺席兒童數ヲ通算シ年度内ニ於ケル總教授日數ヲ以テ除シタル商ヲ掲クヘシ但シ年度内全ク出席セサル者ハ之ヲ除クヘシ計算ハ單位ノ下二位ニ止メ四捨五入スヘシ  
 一 外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ尙備考ノ欄ニ於テ表式ノ種別ニ依リ各其ノ國名別人員ヲ掲クヘシ  
 一 小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依ルモノハ其ノ學校及九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ニ係ル學級、教員、兒童入學者、卒業者、日々出席兒童平均數、日々缺席兒童平均數ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ尙小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ヲ置キタル市町村ノ數ヲモ記載スヘシ

甲號表三 公立私立幼稚園表

種別	道廳府縣立		市立		町村立		私立		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
備考									
保育滿期者									
入園者									
幼兒									
保母									
組									
園									
種別									

甲號表二 樣式說明

一本表ハ設立ノ區別ニ依リ各合算シテ掲クヘシ  
 一 園ハ年度末現在ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 組ハ年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ  
 一 保母ハ年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ公立幼稚園ニ在リテハ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス  
 一 保母中公立幼稚園保母ニシテ他ヨリ兼ヌル者ハ朱書きヲ以テ掲クヘシ  
 一 幼兒ハ年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ  
 一 入園者ハ年度内ニ入園シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 保育滿期者ハ年度内ニ保育滿期トナリタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ尙備考ノ欄ニ於テ表式ノ種別ニ依リ各其ノ國名別人員ヲ掲クヘシ  
 一 師範學校附屬幼稚園ニ係ルモノハ計入スヘカラス其ノ他ノ學校等ニ附屬セル幼稚園ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

甲號表四 師範學校表

種別	道廳府縣立		市立		町村立		私立		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	
種別									
學級									
級									
教員數									
無資格									
有資格									
第一學年									
第二學年									
第三學年									
第四學年									
計									
種別									
學級									
級									
教員數									
無資格									
有資格									
第一學年									
第二學年									
第三學年									
第四學年									
計									

(學校名稱)







甲號表四樣式說明

一本表八年度末現在ノ學校ニ就キ各校各別ニ調製スヘシ

一學級八年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ

一教員八年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス

一教員中師範學校教員タル教員免許狀ヲ有スル者ハ有資格ノ欄ニ其ノ他ノ教員ハ無資格ノ欄ニ掲クヘシ

一教員中其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ朱書きヲ以テ掲クヘシ

一生徒八年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ

一生徒定員八年度内ニ於ケル定員ヲ掲クヘシ

一募集人員八年度内ニ入學セシムル爲メ募集シタル人員ヲ掲クヘシ

一入學志願者ハ前項ノ募集ニ應ジタル者ノ數ヲ掲クヘシ但シ第二學年以上ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ又讓  
備科卒業ニ係ル者ハ計入スヘカラス

一入學者八年度内ニ入學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ但シ第二學年以上ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

備考	小											
	學						校					
	者學入			空			附			校		
	高等	常尋	補正	高等	常尋	補正	附	附	附	高等	常尋	補正
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年
科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科

本料第一學年入學者年齡ハ入學ヲ許可シタル月ニ於ケル年齡ニ依リ何年何月ト記載スヘシ平均年齡ハ入學者總員ヲ以テ入學者ノ年齡ノ總數ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ但シ臨時入學者ハ計入スヘカラス

一卒業者ハ年度内ニ卒業シタル者ノ數ヲ掲クヘシ

一退學者ハ年度内ニ退學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ

一本料學年成績ハ年度内ニ於ケル學年ノ成績ニ就キ掲クヘシ

一私費ニ係ル生徒、募集人員、入學志願者、入學者、卒業者、退學者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

一外國人ニ係ルモノハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

一附屬小學校ニ係ルモノハ甲號表ニ市町村立私立小學校表ノ欄ニ於テ表式ノ種別ニ依リ各其ノ國名別人員ヲ掲クヘシ

一附屬幼稚園ニ係ルモノハ甲號表ニ公立私立幼稚園表ノ例ニ準シテ掲クヘシ

一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ尙小學校教員講習科及幼稚園保姆講習科ニ係ル講習期間ヲモ記載スヘシ但シ小學校教員講習科ニ係ルモノハ小學校教員免許狀ヲ有スル者ノ爲ニ設クルモノト尋常小學校正教員養成ノ爲ニ設クルモノト尋常小學校准教員養成ノ爲ニ設クルモノトヲ分テ記載スルコトヲ要ス

甲號表五 公立私立中學校表

(學校名稱)

種別	學生										種別	人員等				
	本					補							種別	人員等		
	高等		常尋			高等		常尋							種別	人員等
	科	計	科	計	科	計	科	計	種別	人員等						
第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	種別	人員等					
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	種別	人員等					











退															者業卒					者							
本															同	同	買	專	同	本	同	同	科				
年學三第					年學二第					年學一第					補	選	補	選	補	選	補	選	補	選	補	選	
其	死	懸	轉	疾	其	死	懸	轉	疾	其	死	懸	轉	疾	補	選	補	選	補	選	補	選	補	選	補	選	
他	亡	成	學	病	他	亡	成	學	病	他	亡	成	學	病	科	生	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科

**甲號表六様式説明**

一 本表ハ年度未現在ノ學校ニ就キ各校各別ニ調製スヘシ  
 一 學校ハ年度末ノ三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ  
 一 教員ハ年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ公立學校ニ在リテハ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス  
 一 教員中高等女學校教員タル教員免狀ヲ有スル者ハ有資格ノ職ニ其ノ他ノ教員ハ無資格ノ職ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 教員中小學校本科正教員ノ免狀ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者ハ無資格ノ職ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ

備考	績成年學科本										同		同		科				
	第一學年					第二學年					同	同	年學四第						
	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	補	選	其	死	懸	轉	疾		
一	二	三	四	五	一	二	三	四	五	科	生	他	亡	成	學	病	科		

  

額出度本年				額入度本年				績成年學科實									
合	時	計	時	計	其	計	時	計	第	第	第	第	第	第	第	第	第
時	計	時	計	時	計	時	計	時	計	時	計	時	計	時	計	時	計



教員中公立學校教員ニ在リテハ其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ未嘗テ以テ掲クヘシ  
 一 生徒八年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ  
 一 生徒定員八年度内ニ於ケル定員ヲ掲クヘシ  
 一 募集人員八年度内ニ入學セシムル爲募集シタル人員ヲ掲クヘシ  
 一 入學志願者ハ前項ノ募集ニ應シタル者ノ數ヲ掲クヘシ但シ補習科、専攻科、資料ニ係ル選科、同補習科中第二學年以上ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 入學者ハ年度内ニ入學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ但シ補習科、専攻科、資料ニ係ル選科、同補習科中第二學年以上ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 入學者年齡ハ入學ヲ許可シタル月ニ於ケル年齡ニ依リ何年何月ト記スヘシ平均年齡ハ入學者總員ヲ以テ入學者ノ年齡ノ總數ヲ除シタル商ヲ掲クヘシ但シ臨時入學者ハ計入スヘカラス  
 一 卒業生ハ年度内ニ卒業シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 退學者ハ年度内ニ退學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 學年成績ハ年度内ニ於ケル各學年ノ成績ニ就キ掲クヘシ  
 一 外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 明治四十三年勅令第四百二十四號附則第二項ニ依リ存置セル技藝專修科ニ係ルモノハ資料ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
 一 明治四十三年度學年報ニ於テハ資料ノ欄ヲ技藝專修科ト爲シ各其ノ事實ヲ記入スヘシ  
 一 本年度收入總額ハ其ノ年度ニ屬スル收入總額ヲ掲クヘシ但シ私立學校ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 本年度支出總額ハ其ノ年度ニ屬スル支出總額ヲ掲クヘシ但シ私立學校ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記スヘシ尙專攻科ニ係ル生徒卒業者ノ學科別人員ヲモ記スヘシ

甲號表七 公立私立專門學校表 (學校名稱)

種別	限年業修				種別	員數	備考
	研	別	豫	本			
究	科	科	科	科	生	本	
					第三學年	第二學年	第一學年

入學者										者願志學入				徒					
研	別	豫	本	科				研	別	豫	本	研	別	豫	本	研	別	豫	本
				計	大	少	均												
究	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科	科

  

本學科年級						退學者				卒業生					
研	別	豫	本	研	別	豫	本	研	別	豫	本	研	別	豫	本























一學校八年度末現在ノ數ヲ掲クヘシ  
 一學級八年度末現在ノ數ヲ掲クヘシ  
 一教員八年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ公立學校ニ在リテハ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス  
 一教員中公立學校教員ニ在リテハ其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ未嘗テ以テ掲クヘシ  
 一生徒八年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ  
 一入學者八年度内第一學年ニ入學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一修了者八年度内ニ修了シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケ尙備考ノ欄ニ於テ表式ノ種別ニ依リ各其ノ國名別人員ヲ掲クヘシ  
 一其他ノ欄ニハ一學校ニシテ工業、農業、水産、商業、造船等ノ二學科以上ヲ併置シタルモノ及工業、農業、水産、商業、造船以外ノ學科ヲ置キタル實業補習學校ニ係ルモノヲ合算シテ掲クヘシ  
 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

甲號表十一 公立私立盲啞學校表 (學校名稱)

員教	種		限年業修				生徒				
	盲	啞	科普通		科職業		科普通		科職業		
			盲	啞	盲	啞	盲	啞	盲	啞	
前生ノ教授ヲ擔任スル者	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
後生ノ教授ヲ擔任スル者	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
卒業生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
入學者	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生
修了者	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生	生

甲號表十一 様式説明

一 本表八年度末現在ノ學校ニ就キ各校各別ニ調製スヘシ  
 一 學級八年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ  
 一 教員八年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ公立學校ニ在リテハ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス  
 一 教員中公立學校教員ニ在リテハ其ノ學校職員若ハ他ヨリ兼ヌル者アルトキハ未嘗テ以テ掲クヘシ  
 一 生徒八年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ  
 一 入學者八年度内第一學年ニ入學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 修了者八年度内ニ修了シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲ケ尙備考ノ欄ニ於テ表式ノ種別ニ依リ各其ノ國名別人員ヲ掲クヘシ  
 一 其他ノ欄ニハ一學校ニシテ工業、農業、水産、商業、造船等ノ二學科以上ヲ併置シタルモノ及工業、農業、水産、商業、造船以外ノ學科ヲ置キタル實業補習學校ニ係ルモノヲ合算シテ掲クヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

度年本	者學退		額出度本		額總入	
	寄	授	計	計	計	計
金	料	生	時	常	費	費
生	生	生	費	費	金	金















一 學級八年度内三月一日ノ現在數ヲ掲クヘシ  
 一 教員八年度末ノ現員ヲ掲クヘシ但シ公立學校ニ在リテハ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス  
 一 教員中公立學校教員ニ在リテハ其ノ學校職員者ハ他ヨリ派スル者アルトキハ未嘗テ以テ掲クヘシ  
 一 生徒八年度内三月一日ノ現員ヲ掲クヘシ  
 一 入學者八年度内ニ第一學年ニ入學シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 卒業者八年度内ニ卒業シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
 一 外國人ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シテ區別シテ掲クヘシ但シ私立學校ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 本年度收入總額ハ其ノ年度ニ屬スル收入總額ヲ掲クヘシ但シ私立學校ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 本年度支出總額ハ其ノ年度ニ屬スル支出總額ヲ掲クヘシ但シ私立學校ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 金員ノ計算ハ各項ニ於テ四捨五入シテ止ムヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

甲號表十八 公立私立圖書館表

名	位	置	町	市	郡	村	年	月	和	漢	洋	書	冊	數	開	館	日	數	閱	覽	人	員	本年	
																							度	中

甲號表十八樣式說明

一 本表ハ年度末現在ニ依リ各館等ニ區別シテ掲クヘシ但シ學校等ニ附屬スル圖書館ト雖共ノ圖書ヲ公衆ノ閱覽ニ供スルモノハ適宜ノ符號ヲ付シテ區別シテ掲クヘシ  
 一 圖書冊數ハ公衆ノ閱覽ニ供スヘキ圖書ニ就キ年度末ノ現在數ヲ掲クヘシ  
 一 開館日數ハ年度内開館シタル日數ヲ掲クヘシ

乙號表一 學級別市町村立私立小學校表

種	別	尋常小學校		高等小學校		尋常高等小學校	
		學校	兒童	學校	兒童	學校	兒童
單	市町村立						
一	私						
二	市町村立						
三	私						
四	市町村立						
五	私						
六	市町村立						
七	私						
八	市町村立						
九	私						

一 閱覽人員ハ年度内開館中ノ來館閱覽人員ヲ掲クヘシ  
 一 本年度收入總額ハ其ノ年度ニ屬スル收入總額ヲ掲クヘシ但シ私立圖書館ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 本年度支出總額ハ其ノ年度ニ屬スル支出總額ヲ掲クヘシ但シ私立圖書館ニ係ルモノノミ之ヲ掲クヘシ  
 一 金員ノ計算ハ各項ニ於テ四捨五入シテ止ムヘシ  
 一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ























一 師範學校卒業ニ依ル者ノ欄ニハ小學校令施行規則第七條ニ依リ免許狀ヲ授與シタル者ノ數ヲ掲クヘシ  
一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

乙號表九 學齡兒童中盲者聾啞者表

種別	盲者		聾啞者		合計
	男	女	男	女	
同上ノ内學校ニ於テ進業スル者					
備考					

乙號表九樣式說明

一 本表ハ年度末現在ノ學齡兒童中盲者、聾啞者ノ數ヲ掲クヘシ但シ盲ニシテ且聾啞ナル者アルトキハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

乙號表十 公立學校長正教員在職年數別表

種別	在職年數					
	五年未満	五年以上	十年以上	十五年以上	二十年以上	二十五年以上
市町村立 小學校 正教員						
師範學校 正教員						
公立中 學校 正教員						
公立高等 女學校 正教員						
公立專 門學校 正教員						
公立實業學校 正教員						
其他ノ公 立學校 正教員						
備考						

乙號表十樣式說明

一 本表ハ年度末ノ現員ニ就キ掲クヘシ但シ休職ニ係ル者ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
一 在職年數ハ市町村立小學校及公立實業補習學校正教員ニ在リテハ明治二十五年勅令第十八號同二十七年文部省令第三號ニ準  
シ府縣立師範學校公立中學校高等女學校專門學校實業學校及其ノ他ノ公立學校長正教員ニ在リテハ明治三十二年勅令第九  
十六號同第二十一號ニ準シ計算シテ掲クヘシ  
一 公立實業補習學校ニ係ル者ハ市町村立小學校ノ欄ニ於テ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ  
一 乙種程度ノ實業學校ノ欄ニハ徒弟學校又ハ別科程度ノ水産學校ニ係ルモノヲモ記載スヘシ  
一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ説明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ尙左記ノ事項ヲモ記載スヘシ  
一 年度末現在ノ市町村立小學校本科正教員ニシテ同一府縣内ニ於テ其ノ職ヲ五年以上勤続セル者ノ男女別人員但シ休職者ハ  
之ヲ計入スヘカラス  
一 同上本科正教員ニシテ同一府縣内ニ於テ專科正教員又ハ准教員ノ職ニ在リタル年數ヲ算入セハ勤続五年以上ニ達スヘキ者  
ノ男女別人員但シ休職者ハ之ヲ計入スヘカラス

乙號表十一 公立學校醫務表

種別	道府			郡立			市立			町立			合計
	醫師	助産師	看護婦	醫師	助産師	看護婦	醫師	助産師	看護婦	醫師	助産師	看護婦	
小學校													
師範學校													
備考													











丙號表二 公學資產表

種別	土地坪數		建物坪數		土地價額		建物價額		圖書價額		器具價額		金		備考
	坪數	坪數	坪數	坪數	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
小學校	普通														
	高等														
師範學校	師範														
	女子														
高等學校	高等														
	專門														
實業學校	實業														
	各種														
幼稚園	幼稚														
	圖書														
其他	其他														
	合計														

丙號表二 樣式說明

- 一本表ハ年度末ノ現在ニ依リ丙號表一公學費表ノ例ニ準シ府縣、郡、市、町村ノ四表ニ別チ各別ニ調製スヘシ但シ市ハ各市ニ別チ調製スヘシ
- 一學校、幼稚園、圖書館等ニシテ他ノ學校ノ附屬ニ係ルモノハ總テ之ヲ本校ノ部ニ計入スヘシ
- 一圖書館ノ下「其他」ノ部ニハ學校、幼稚園、圖書館ノ各部ニ屬セサルモノハ例ヘハ教員檢定、教員講習、學務委員等ニ關スルモノヲ掲クヘシ
- 一建物坪數ニハ二階、三階等ノ坪數ヲモ合算シテ掲クヘシ又圖書館ニ係ル圖書閱覽室ノ坪數ハ教場ノ欄ニ掲クヘシ
- 一土地、建物、圖書、器械、標本、器具ノ價額ハ時價ヲ以テ掲クヘシ
- 一學校基本財産ノ欄及積立金ノ欄ニハ地方學事通則第九條ニ依リ設ケタルモノニ就キ掲クヘシ
- 一學校基本財産中前種別ノ各欄ニ掲ケタルモノト重複スルモノハ重複スルモノハ重複スルモノヲ以テ掲クヘシ
- 一金額中ニハ公債證券其ノ他ノ有價證券ヲモ時價ヲ以テ計入スヘシ
- 一金員及坪ノ計算ハ各項ニ於テ四捨五入シ圖又ハ坪ニ止ムヘシ
- 一乙種程度ノ實業學校ノ欄ニハ徒弟學校又ハ別科程度ノ水産學校ニ係ルモノヲモ記載スヘシ
- 一備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

丙號表三 公立諸學校圖書館收支表(小學校實業補習學校、小學校)

名稱	收入		支出		合計
	普通	特別	普通	特別	
普通					
特別					
合計					











一 應給ニ關スル支出ノ部退隱料、扶助料ノ欄ニハ年度内ニ於テ支給ヲ始メタルモノト前年度以前ヨリ引續キ支給スルモノトヲ問ハス總テ合算シタル金額及其ノ人員ヲ掲クヘシ但シ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタル者ニ係ル金額及其ノ人員ハ適宜ノ符號ヲ付シ區別シテ掲クヘシ又一時給養金ノ欄ニハ明治二十三年法律第九十號第十一條第二項ニ依リ支給シタル金額及其ノ人員ヲ掲クヘシ

一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

丙號表八 府縣立師範學校公立學校及公立圖書館職員國庫納金、公費支出表

種別	府縣立師範學校		公立中學校		公立高等女學校		公立專門學校		公立實業學校		其他ノ公立學校		公立圖書館	
	納金	公費支出	納金	公費支出	納金	公費支出	納金	公費支出	納金	公費支出	納金	公費支出	納金	公費支出
合計														

丙號表八樣式說明

一 本表ハ年度ニ屬スル納入並支出ニ就キ掲クヘシ

一 國庫納金ノ部職員納金ノ欄ニハ府縣立師範學校長納金ハ記入ヲ要セス

一 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ就キ說明ヲ要スル事項及特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スヘシ

○ 文部省訓令第三號

大臣官房會計課  
直轄諸學校 帝國圖書館

明治四十四年度當省所管學校及圖書館歲入歲出豫算科目左ノ通定

明治四十四年三月三十一日  
明治四十四年度文部省所管學校及圖書館歲入歲出豫算科目表  
文部大臣 小松原英太郎

款	項	目	節	歲入經常部		附屬學校費	
				政府支出金 受入	實業教員養 成費受入	入學試驗料	檢定料
學校及圖書	諸收入	授業料	研究料			寄附料	
			正科授業料			土地家屋賃 下料	
			撰料授業料			患者收入	
			別科授業料			入院料	
			特別生授業料			診療料	
			講習及臨講料				







用紙	筆墨印內類	薪炭油類	雜用品	通信運搬費	郵價電信料	電話料	運搬費	實驗費	藥品	材料及雜品	家畜買上代	飼養料	家畜治療費	家畜積付料	肥料購買費	種苗購買費
寄宿舍費	日用品	式日誌費	各所修繕	學用患者費	雜給及雜費	學用患者費	給與	特別手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当	臨時手当及 臨時手当
備品	消耗品															

學生費	學費	生徒實地研 究費	療養費	賞與	履員給	備人料	被服費	音樂演奏會 費	生徒成績品 展覽會費	給	印刷費	雜費	給	印刷費	雜費	雜費
醫藥料	廣告料	贈與	家屋其他備 料	舟車足類備 費	道路費	給水料	解劑料費	水路費	備外國人誌 給	修給	手當	旅費	病院費	備品費	器具	雜費











○農商務省訓令第四號

明治四十四年勅令第二十七號ニ依リ漁業監督吏員ヲ命シタルトキハ直ニ其官職氏名ヲ農商務大臣ニ報告シ且之ヲ管内ニ告示スヘシ  
漁業監督吏員ニ携帯セシムヘキ證票ハ左ノ様式ニ依ルヘシ

表	裏

(用紙厚紙縦二寸 横一寸五分)

漁業監督吏員ニハ手帳ヲ交付シ之ニ實地臨檢ニ關スル要領ヲ記載セシムヘシ  
明治四十四年三月二十四日 農商務大臣 男爵大浦兼武

○農商務省訓令第五號  
大林区署會計事務章程中左ノ通改正シ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス  
明治四十四年三月三十一日 農商務大臣 男爵大浦兼武  
第八十七條中「消耗品」ノ下ニ「動物」ヲ加フ

○逓信省訓令第一號

船泊(解船及通船)ノ運航ニ關シ取締規則ヲ制定シ又ハ之ヲ改廢シタルトキハ其ノ都度通達ナラ共 廳府縣

ノ寫ヲ添ヘテ逓信省ニ之ヲ報告スヘシ但シ既ニ公布ニ係ル現行規則ハ來四月三十日迄ニ其ノ寫ヲ送付スヘシ  
明治四十四年三月二十一日 逓信大臣 男爵後藤新平

○朝鮮總督府訓令第十七號(官報三月七日)

朝鮮總督府鐵道局事務分掌規程第六條第一號ヲ左ノ通改ム  
明治四十四年三月一日 朝鮮總督 子爵寺內正毅  
一線路及建造物ノ修理保存改良並特ニ指定スル建設工事ニ關スル事項

〔參照〕

朝鮮總督府訓令第五號朝鮮總督府鐵道局事務分掌規程(明治四十三年十月十日)抄録  
第六條 工務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル  
一 線路及建造物ノ修理保存改良ニ關スル事項

○朝鮮總督府訓令第十八號(官報三月二十一日)

朝鮮總督府及所屬官署判任文官巡查看守及女監取締ニシテ朝鮮語又ハ國語通譯ノ事ヲ兼掌スル者ニハ明治四十三年勅令第三百八十七號別表ニ依リ特別月手當ヲ支給ス  
手當ノ支給方ハ各其ノ俸給支給ノ例ニ依ル

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令ノ規定ハ本令施行前ニ於ケル朝鮮語又ハ國語通譯兼掌者ノ手當支給方ニ付テモ亦之ヲ適用ス  
明治四十四年三月十六日 朝鮮總督 子爵寺內正毅



○朝鮮總督府訓令第十九號(官報三月二十五日)

明治四十四年三月二十日限發務取扱ヲ解カレタルモノト心得ヘシ  
 韓國表勸院發務取扱職員

○朝鮮總督府訓令第二十號(官報三月二十七日)  
 朝鮮總督 子爵寺內正毅

鹽稅規程取扱手續左ノ通定ス  
 專賣局 道府郡

明治四十四年三月二十一日  
 朝鮮總督 子爵寺內正毅

第一條 府又ハ郡ニ於テ鹽ノ製造ニ關シ免許申請書又ハ申告書ヲ受理シタルトキハ其ノ記載事項ノ當否、鹽製造免許申請書ニ付テハ其ノ鹽田ノ經歷並新規開設、舊廢田ノ再興又ハ他人ノ鹽業繼承ノ何ニ屬スルヤニ付調査ヲ爲シ其ノ意見ヲ具シ所轄道廳ヲ經由シテ之ヲ專賣局ニ提出スヘシ

第二條 專賣局、府及郡ニ於テハ別紙第一號書式ニヨリ鹽製造許可證帳ヲ備ヘ鹽製造ニ關スル事項ヲ登記スヘシ

第三條 府及郡ニ於テハ第二號書式ニ依リ毎年十二月三十一日現在ノ鹽製造許可事項ヲ調査シ翌年二月末日迄ニ所轄道廳ヲ經由シ專賣局ニ報告スヘシ

第四條 府及郡ニ於テハ第三號書式ニヨリ毎年ノ鹽稅規程違反者ニ關スル處分表ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ所轄道廳ヲ經由シ專賣局ニ報告スヘシ

附則

第五條 本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第六條 府及郡ニ於テハ明治四十四年一月一日ノ現在ニヨリ第二條ノ證帳ニ通シ調製シ其ノ一通ヲ明治四十四年六月三十日限リ專賣局ニ提出スヘシ  
 第一號書式(鹽製造許可證帳)

某道某郡某面

文字ノ兩側ニ朱ノ二線ヲ畫シテ前記ヲ示シケルハハ印ヲ附ス

記入月日	許可月日	田名	面積	種別	年額	備考
一 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
二 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
三 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
四 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
五 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
六 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
七 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇
八 何月何日	何月何日	某	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇

注意  
 一本證帳ハ申請ニ在リテハ其ノ指令ニヨリ申告ニ在リテハ其ノ申告書ニヨリ記載加算訂正スルモノトス  
 一本證帳ハ鹽田所在地ノ區別ニ口座ヲ設ケ整理スヘシ  
 第二號書式(鹽製造許可現在報告書)



專賣局

鹽製造許可現在報告

某年十二月三十一日現在

道名	府	郡	面	鹽田面積	鹽釜數	鹽井數	一箇年製 造斤數	製造者數	備考
計									

注意

本報告ハ毎年十二月末日ノ鹽製造許可證額ノ現在ニヨリ翌年二月末日迄ニ專賣局ニ報告スルモノトス

第三號書式

鹽稅規程違反者處分表

某年

郡名	違反件數	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員	國籍人員

○内閣訓令第一號

官幣大社權太神社神職奉務規程左ノ通定

官幣大社權太神社神職

明治四十四年四月一日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

官幣大社權太神社神職奉務規程

- 第一條 神職ハ國家ノ宗祀ニ從事シ國家ノ禮典ヲ代表スル職務タルヲ以テ平素國體ヲ辨レ國典ヲ修メ素行ヲ正シ以テ其ノ本務ヲ盡スヘシ
- 第二條 祭典ハ國家尊倫ノ標準タルヲ以テ齋肅恭敬ヲ旨トシ報本反始ノ誠意ヲ表スヘシ
- 第三條 祈年祭、新嘗祭、例祭共ノ他官祭ノ典則ハ非常ノ事故アルニ非サレハ成規ノ時間ヲ伸縮スヘカラス
- 第四條 公衆ノ求ニ應シ神符等ヲ授クルハ妨ナレト雖苟モ貪汚ノ所爲アルヘカラス
- 第五條 神社所藏ノ寶物、什器、古文書類等ハ散逸セサル様嚴重ニ監守スヘシ
- 第六條 社殿及境内ハ常ニ清潔ナラシムヘシ

○内閣訓令第二號

官幣大社權太神社神職

明治四十四年四月一日

内閣總理大臣 侯爵桂太郎

官幣大社權太神社處務規程

- 第一條 官幣大社權太神社ノ社務ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外本規程ニ依リ之ヲ取扱フヘシ
- 第二條 社務ハ宮司ニ於テ各共ノ擔任者ヲ定メ之ヲ處分セシムヘシ
- 第三條 神社ニ到達シタル文書ニレテ處分ヲ要スルモノハ各共ノ擔任者ニ於テ速ニ處分ノ案ヲ具



シ宮司ノ決裁ヲ經テ之ヲ執行シ處分ヲ要セサルモノハ宮司ノ査閱ニ供スヘシ

第四條 令達其ノ他例規トナルヘキ文書ハ前條ノ手續ヲ爲シタル後類別編纂シ永久之ヲ保存スヘシ

第五條 前項以外ノ文書ハ適宜編綴シ必要ノ期間之ヲ保存スヘシ

社務所ニハ左ノ簿冊及圖面ヲ備フヘシ

一 祭神記

二 神社財産臺帳

三 境内及建物圖

四 寶物及貴重書畫什器類目錄

五 祭器具目錄

六 藏書目錄

七 文書受發簿

八 寄附金品受領簿

九 神符及守札簿

十日誌

宮司ハ前項ノ外榊太廳長官ノ定ムル所ニ依リ會計ニ關スル諸帳簿ヲ設ケ神社ノ收支及金品ノ出納ニ關スル事項ヲ登記スヘシ

第六條 金品ノ獻納アリタルトキハ之ヲ受領スルコトヲ得但シ用途ヲ指定シタル金品ハ其ノ用途ニ供用シ得ル場合ニ限り之ヲ受領スルコトヲ得

獻納ニ係ル金品ヲ受領シタルトキハ毎月其ノ明細書ヲ編製シ翌月五日迄ニ榊太廳長官ニ報告スヘシ

獻納ニ係ル樹木及草花等ハ境内適當ノ場所ニ植付クヘシ

第七條 社殿其ノ他ノ改築、増築又ハ修繕ヲ要スルトキハ工費概算書ヲ添ヘ其ノ事由ヲ具シ榊太廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

竹木花卉ノ植付若ハ伐採又ハ庭園ノ修築ヲ要スルトキ亦同シ

第八條 不用物品ノ賣却ヲ要スルトキハ其ノ品目及見積價格等ヲ具シ榊太廳長官ノ認可ヲ受クヘシ

但シ消耗品ニ屬シ價格二圓ヲ超エサルモノハ適當處分スルコトヲ得

第九條 社印其ノ他重要ナル印章ハ金櫃ニ收メ鎖鑰ヲ施スヘシ

第十條 神殿、倉庫及金櫃等ノ鍵ハ一定ノ容器ニ收メ封印ヲ施スヘシ但シ宮司自ラ保管スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 宮司交替シタルトキハ社務引繼書ヲ編製シ一切ノ事項ヲ其ノ後任者ニ引繼クヘシ

宮司死亡シタルトキハ後任者ノ著任ヲ俟テ禰宜ニ於テ前項ノ引繼ヲ爲スヘシ

第十二條 宮司交替シタル場合ニ於テ未タ後任者ノ任命ナキトキハ禰宜ニ對シ共ノ引繼ヲ爲スヘシ

後任者ノ著任ヲ俟ツノ違ナキトキ亦同シ

第十三條 前項ニ依リ引繼ヲ受ケタル禰宜ハ後任宮司ニ對シ更ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ

第十四條 土地、建物、金品及有價證券ノ引繼ハ各共ノ帳簿及目錄ト對照シ榊太廳長官ノ派遣シタル官吏ノ立會ヲ以テ之ヲ執行スヘシ

第十五條 社務引繼ノ際金品ノ不足其ノ他ノ事故アリタルトキハ前項ノ受渡書ニ其ノ顛末ヲ記載スヘシ

社務ノ引繼ヲ受ケタル宮司又ハ禰宜ハ其ノ受渡書ノ原本ヲ編製シ退滯ナク榊太廳長官ニ進達スヘシ

第十六條 社務引繼ノ終了ハ榊太廳長官ヨリ内閣總理大臣ニ報告スヘシ



第十七條 職員疾病其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤スルトキハ宮司ハ樺太廳長官ニ共ノ他ハ宮司ニ届出ツヘン

第十八條 職員忌服ヲ受ケタルトキハ宮司ハ樺太廳長官ニ「稱宜及主典ハ樺太廳長官及宮司ニ其ノ他ハ宮司ニ届出ツヘン

宮司稱宜及主典ノ除服出仕ハ樺太廳長官其ノ他ノ除服出仕ハ宮司之ヲ命スヘン

第十九條 職員轉地療養、墓參詣省共ノ他私事ノ爲旅行ヲ要スルトキハ其ノ旅行先及日數等ヲ具シ宮司、稱宜及主典ハ樺太廳長官共ノ他ハ宮司ノ認可ヲ受クヘン

第二十條 職員死亡シタルトキハ宮司ヨリ樺太廳長官ニ届出ツヘン

宮司死亡シタルトキハ稱宜ヨリ前項ノ届出ヲ爲スヘン

前項ノ場合ニ於テハ樺太廳長官ヨリ内閣總理大臣ニ報告スヘン

第二十一條 神社ニ風火災又ハ盜難アリタルトキハ宮司ヨリ直ニ樺太廳長官ニ報告スヘン

前項ノ場合ニ於テハ樺太廳長官ヨリ共ノ願末ヲ内閣總理大臣ニ報告スヘン

第二十二條 本規程ニ定ムルモノノ外神社ノ處務上必要ナル事項ハ宮司之ヲ定メ樺太廳長官ノ認可ヲ受クヘン

○內務省訓令第六號

明治四十四年四月一日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

內務大臣官房會計課 衛生試驗所  
傳染病研究所 內務省土木出張所

○內務省訓令第七號

明治四十四年度當省所管歲出科目別表ノ通相定メ但別表ハ別ニ頒ツ

明治四十四年四月一日

內務大臣 法學博士男爵平田東助

內務大臣官房會計課 警 視 廳  
北海道廳 府 縣 衛生試驗所  
傳染病研究所 內務省土木出張所

○大藏省訓令第十七號

帝國學士院學術獎勵金特別會計規則ニ依ル帝國學士院學術獎勵金歳入歳出ノ出納ハ明治四十四年三度大藏省訓令第十五號帝國大學特別會計並學校及圖書館特別會計金庫出納事務規程ニ準據シ現金出納原簿ハ「某年度帝國學士院學術獎勵金歳入」「某年度帝國學士院學術獎勵金歳出仕拂元金」ノ科目ヲ設ケテ整理シ諸帳簿計算報告及決算整理方等ハ總テ各別ニ區分スヘン

明治四十四年四月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

朝鮮總督府特別會計金庫出納事務規程ヲ左ノ通相定メ明治四十四年四月一日ヨリ施行ス

明治四十四年四月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

朝鮮總督府特別會計金庫出納事務規程

第一條 朝鮮總督府特別會計ノ歳入歳出豫算決定ノ上ハ大藏大臣ハ其ノ歳出豫算額ヲ中央金庫ニ令達スヘシ其ノ追加變更アリタルトキ亦同

第二條 中央金庫ニ於テ前條ノ令達ヲ受ケタルトキハ之ヲ京城本金庫ニ通達シ同本金庫ハ第一號



書式ノ豫算差引簿ヲ設ケテ之ヲ登記スヘシ

朝鮮總督ヨリ第一豫備金支出ノ通知アリタルトキハ京城本金庫ハ豫算差引簿中第一豫備金ノ科目ヨリ當該科目ニ移記スヘシ但シ第一豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ科目ハ大藏大臣ヨリ中央金庫ヲ經テ豫メ令達スヘシ

第三條 朝鮮總督府特別會計規則第三條ニ依リ朝鮮總督ヨリ仕拂計算書ヲ京城本金庫ニ送付シタルトキハ同本金庫ハ款項毎ニ豫算差引簿ニ登記シ豫算額ト差引スヘシ仕拂計算書ノ更定アリタルトキ亦同シ

第四條 仕拂計算書款項ノ金額豫算額ニ超過スルトキハ其ノ超過額ノ取消ヲ朝鮮總督ニ照會スヘシ若シ朝鮮總督ニ於テ取消ヲ爲ササルトキハ大藏大臣ノ指揮ヲ得タル後ニ在ラサレハ其ノ超過ニ屬スル部分ニ對シ仕拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 京城本金庫ニ於テ朝鮮總督ヨリ仕拂計算書若ハ其ノ更定計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ金額ヲ支出簿ニ登記スヘシ其ノ所屬各支金庫ニ屬スル分ハ直ニ之ヲ各支金庫ニ送付シ各支金庫ニ於テ同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 朝鮮總督府特別會計規則第四條ニ依リ大藏大臣仕拂元金繰替ノ請求ニ應ジタルトキハ之ヲ中央金庫ニ令達シ中央金庫ハ京城本金庫ニ通達スヘシ

第七條 京城本金庫ニ於テ朝鮮總督ヨリ仕拂計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ第二號書式ノ仕拂元金差引簿ヲ設ケ該計算書備考仕拂元金種別ニ依リ其ノ金額ヲ登記スヘシ其ノ所屬各支金庫ニ屬スル分ハ直ニ之ヲ各支金庫ニ送付シ各支金庫ニ於テ同様ノ手續ヲ爲スヘシ其ノ更定アリタルトキ亦同シ

前項ノ仕拂元金差引簿ハ仕拂命令官ヨリ送付セラレタル朝鮮特別會計ニ屬スル案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ノ金額ヲ登記シ差引スヘシ

第八條 京城本金庫並所屬各支金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ前條ノ仕拂元金ニ超過シタル案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ヲ受ケタルトキハ仕拂計算書ノ金額以內ト雖仕拂命令ノ執行ヲ停止シ京城本金庫ニ在リテハ其ノ旨ヲ仕拂命令官ニ所屬各支金庫ニ在リテハ其ノ旨ヲ仕拂命令官及京城本金庫ニ通知スヘシ

第九條 京城本金庫並所屬各支金庫ニ於テ朝鮮總督府特別會計所屬出納官吏ヨリ同會計所屬ノ歳入金振替拂込書ニ振替ノ押印アル仕拂命令、集合仕拂命令ノ裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令又ハ雜部保管金引出切符ヲ添ヘ納付アリタルトキハ直ニ指定ノ歳入金ニ收納シ集合仕拂命令ニ對シテハ領收證書ヲ當該仕拂命令官ニ交付スヘシ

前項「振替」ノ押印アル仕拂命令、集合仕拂命令及雜部保管金引出切符ニ對シテハ出納官吏ニ振替受拂ノ計算ヲ爲シ實際現金ノ拂渡ヲ爲スヘカラス

第十條 京城本金庫ニ於テ朝鮮總督府特別會計所屬出仕拂元金ニ對シ出納官吏ヨリ繰替拂資金交付請求書ノ送付ヲ受ケタルトキハ該請求書ヲ大藏大臣ノ通知書ト對照シ其ノ元金ヨリ現金ヲ拂出シ當該出納官吏ノ雜部保管金へ受入ノ手續ヲ爲シ振替濟通知書ヲ朝鮮總督ニ發送スヘシ

第十一條 京城本金庫ニ於テ出納官吏ヨリ雜部保管金引出切符又ハ「振替」ノ押印アル仕拂命令ヲ以テ朝鮮總督府特別會計所屬出仕拂元金へ前條繰替拂資金ノ戻入方請求ヲ受ケタルトキハ戻入ノ手續ヲ爲シ其ノ金額ヲ中央金庫ヲ經由シテ大藏大臣ニ報告スヘシ

第十二條 金庫ニ於ケル現金出納原簿ニ在リテハ現金ニ左ノ科目ヲ設ケテ整理スヘシ  
某年度朝鮮總督府歳入  
某年度朝鮮總督府歳出  
某年度朝鮮總督府歳出仕拂元金繰替拂資金交付額  
某年度朝鮮總督府歳出仕拂未濟翌年度へ繰越金



第十三條 附則 金庫ハ本規程ニ記載ナキ事項ニ關シテハ金庫出納事務規程ヲ準用スヘシ  
明治四十三年十月大藏省訓令第二十三號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一號書式

明治何年度朝鮮總督府特別會計歲出豫算差引簿

何地本金庫

(内ハ未書)

何々(款)		何々(項)					
年月日	摘要	豫算額		仕拂豫算額		残額	
		圓	角	圓	角	圓	角
何何何	何年何月何日第何號令途 第何號仕拂計算書 何金庫 <small>何年何月何日何管府通過何何何第一號 第何號</small>	0		0		0	
		0				0	

備考  
「本書式中第一豫備金ヨリ補充ノ員額ニ對スル第一  
豫備金ノ口座ニ於ケル員額ハ豫算額ノ欄内ヘ未書  
ニア記入スルモノトス」



明治四十四年四月 訓令 大藏省第十八號 朝鮮總督府特別會計金庫出納事務規程

「第二號書式」

明治何年度朝鮮總督府特別會計歲出仕拂元金差引簿

何地金庫

明治何年何月分

年月日	摘要	仕拂元金配賦額		仕拂命令受領済額		差引残	
		圓	角	圓	角	圓	角
何何何何	朝鮮總督府歳入見込額	0					
何何何何	一般會計ヨリ補充額	0					
何何何何	繰替額	0				0	
何何何何	仕拂命令何枚			0		0	

「備考」  
「差引残額ハ漸次翌月へ繰越シ整理スルモノトス」

〔参照〕

明治四十三年十月 大藏省訓令第二十三號ハ朝鮮總督府特別會計ニ依ル朝鮮總督府ノ歳入歳出ノ出納事務方ナリ

明治四十四年四月 訓令 大藏省第十八號 朝鮮總督府特別會計金庫出納事務規程



○大藏省訓令第十九號

朝鮮鐵道用品資金會計金庫出納事務規程ヲ左ノ通相定メ明治四十四年度ヨリ施行ス

明治四十四年四月一日

大藏大臣 侯爵桂太郎

朝鮮鐵道用品資金會計金庫出納事務規程

第一章 總則

- 第一條 金庫ハ本規程ニ依リ朝鮮鐵道用品資金會計ニ屬スル出納ヲ取扱フヘシ
- 第二條 金庫ニ收納セル朝鮮鐵道用品資金會計歳入金ハ其ノ會計ノ仕拂元受金ニ組替ヲ爲スヘシ
- 第三條 金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ資金ニ屬スル現金ノ持越高ヲ翌年度仕拂元受金ニ組替ノ請求ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ但シ便宜ノ爲該該年度三月中ニ於テ本文金額ノ内幾部分ノ繰越方請求ノ場合亦同シ
- 第四條 金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ年度開始前仕拂命令發行ノ必要ノ爲仕拂元受金ノ内翌年度仕拂元受金ニ組替ノ請求ヲ受ケタルトキハ普通ノ順序ニ依リ組替ヲ爲シタル上現金仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ
- 前項ニ依ル現金ノ拂出ハ年度開始前現金支出規則第二條ノ令違フ受ケルニ非サレハ其ノ拂出ヲ爲スヲ得ス
- 第五條 金庫ハ仕拂命令官ヨリ朝鮮鐵道用品資金會計ノ歳出金ニ係ル案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ仕拂豫算及仕拂元受金ノ殘額ト照合シ仕拂豫算及仕拂元受金ニ超過スルモノアルトキハ其ノ事由ヲ具シ直ニ之ヲ當該仕拂命令官ニ返付スヘシ
- 第六條 金庫ニ於テ朝鮮鐵道用品資金會計所屬出納官吏ヨリ同會計所屬ノ歳入金振替拂込書ニ

「振替」ノ押印アル仕拂命令、集合仕拂命令（集合仕拂命令ニハ當該仕拂命令官）又ハ雜部保管金引  
出切符ヲ添ヘ納付アリタルトキハ直ニ指定ノ歳入金ニ收納シ集合仕拂命令ニ對シテハ領收證書  
ヲ當該仕拂命令官ニ交付スヘシ

- 前項「振替」ノ押印アル仕拂命令、集合仕拂命令及雜部保管金引出切符ニ對シテハ出納官吏ニ振替  
受拂ノ計算ヲ爲シ實際現金ノ拂渡ヲ爲スヘカラス
- 第七條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要ス  
ル裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ニシテ翌年度五月三十一日迄ニ歳出金トシテ拂出ノ計算ヲ  
爲シ得サルモノハ歳出仕拂未済繰越金トシテ繰越ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第八條 金庫ハ本規程ニ記載ナキ事項ニ關シテハ朝鮮總督府特別會計金庫出納事務規程ヲ準用ス  
ヘシ

第二章 帳簿及計算報告

- 第一款 中央金庫
  - 第九條 中央金庫ハ現金出納原簿ヘ左ノ科目ヲ設ケ朝鮮鐵道用品資金會計ノ出納ヲ登記スヘシ
  - 某年度朝鮮鐵道用品資金歳入
  - 某年度朝鮮鐵道用品資金歳出仕拂元金
- 第十條 中央金庫ハ京城本金庫ヨリ仕拂命令受領濟額報告書ノ證明ヲ受ケ毎月出納計算書ト共ニ  
送付ヲ受ケタルトキハ金庫出納役之ニ署名捺印シ毎月出納計算書ト共ニ大藏省ニ差出スヘシ
- 第二款 本金庫
  - 第十一條 京城本金庫ハ朝鮮鐵道用品資金會計ノ計算整理ノ爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ
  - 第一 朝鮮鐵道用品資金歳入金各屬内譯簿
  - 第二 朝鮮鐵道用品資金歳出仕拂元受高差引簿



第三 朝鮮鐵道用品資金庫出支出簿

第十二條 朝鮮鐵道用品資金庫入金各廳内譯簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ取扱廳及歳入徴收官ヲ區分シ各廳憑書ニ依リ毎日其ノ歳入額ヲ登記スヘシ其ノ書式ハ第一號ノ如シ

第十三條 朝鮮鐵道用品資金庫出支拂元受高差引簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ金庫及仕拂命令官ヲ區分シ仕拂命令官ヨリ資金ニ屬スル現金ノ持越高ヲ仕拂元受金ニ組替ノ請求ヲ受ケタルトキ資本持越高ヲ又歳入金ヲ仕拂元受金ニ組替ヲ爲シタルトキ歳入ヨリ組替額ヲ登記シ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ヲ受領セル都度仕拂命令受領額ヲ登記シ現金ヲ仕拂タルトキ各廳憑書ニ依リ仕拂額ヲ登記スヘシ其ノ書式ハ明治四十四年大藏省令第九號ニ依リ明治二十三年大藏省令第九號中第十七號書式ニ依ル

第十四條 朝鮮鐵道用品資金庫出支出簿ハ各年度毎ニ之ヲ設ケ仕拂命令官毎ニ款項ヲ區分シ大藏大臣ヨリ令達セラレタル仕拂算額ヲ登記シ置キ追テ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若ハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル裏書アル仕拂命令、集合仕拂命令ヲ受領セル都度仕拂命令受領額ヲ登記スヘシ其ノ書式ハ明治四十四年大藏省令第九號ニ依リ明治二十三年大藏省令第九號中第十六號書式ニ依ル

第十五條 京城本金庫ハ現金出納原簿ヘ左ノ科目ヲ設ケ朝鮮鐵道用品資金會計ノ出納ヲ毎日登記スヘシ  
某年度朝鮮鐵道用品資金庫入  
某年度朝鮮鐵道用品資金庫出仕拂元金

第十六條 京城本金庫ハ朝鮮鐵道用品資金庫入金各廳内譯簿ニ依リ毎月第二號書式ノ朝鮮鐵道用品資金庫入金月計對照表ヲ調製シ當該歳入徴收官ヘ又朝鮮鐵道用品資金庫出仕拂元受高差引簿ニ依リ毎月第三號書式ノ朝鮮鐵道用品資金庫出金月計對照表ヲ調製シ當該仕拂命令官ニ送付スヘシ

前項歳出金月計對照表ハ當該仕拂命令官ノ證明ヲ受ケ毎月出納内譯書ニ添ヘ中央金庫ニ送付スヘシ  
第十七條 京城本金庫ハ朝鮮鐵道用品資金庫出支出簿及朝鮮鐵道用品資金庫出仕拂元受高差引簿ニ依リ毎月朝鮮鐵道用品資金庫出仕拂命令受領額報告書ヲ調製シ當該仕拂命令官ニ送付シ證明ヲ受ケ毎月出納計算書ニ添ヘ中央金庫ヘ送付スヘシ其ノ書式ハ明治四十四年大藏省令第九號ニ依リ明治二十三年大藏省令第九號中第七號書式ニ依ル

第三章 決算整理  
第十八條 中央金庫ハ毎年度出納計算書ヘ朝鮮鐵道用品資金會計庫入金及歳出仕拂元金ノ受拂額ヲ掲記スヘシ  
第十九條 京城本金庫ハ毎月出納内譯書ヘ朝鮮鐵道用品資金庫入金、歳出仕拂元金ノ受拂額及其ノ内譯額ヲ掲記スヘシ  
每年六月ノ出納内譯書ニハ前年度所屬歳入歳出出納明細書ヲ添付スヘシ

第二十條 京城本金庫ハ毎月出納計算書中受拂ノ部ヘ朝鮮鐵道用品資金會計庫入金、歳出仕拂元金ノ受拂額ヲ掲記シ又内譯ノ部歳入ノ區ノ次ニ某年度朝鮮鐵道用品資金庫入ノ區又歳出ノ區ノ次ニ某年度朝鮮鐵道用品資金庫出仕拂元金ノ區ヲ設ケ受拂額ノ内譯ヲ掲記スヘシ其ノ書式ハ別ニ之ヲ定ム



附則  
 明治四十二年三月三十一日大藏省訓令第十號韓國鐵道及同用品資金會計金庫出納事務規程ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第一號書式

某 年 度

朝鮮鐵道用品資金歲入金各廳內譯簿

何 本 金 庫

(内ハ朱書)

何廳(取扱廳)		歳入徴收官官氏名			1.	
年 月 日	摘 要	支金庫報告		歳 入	累 計	
		支金庫名	年 月 日			
何	何	何	何	何	何	
	「更正拂事由何々」					
	何月分合計					
	「同上更正拂合計」					
	改合計					



某年度朝鮮鐵道用品資金歲入金 明治何年何月中月計對照表 第二號書式				
備考	名	金額		備考
		圓	錢	
	何 應 (取扱)	0		更正拂0事由何々?
	書面之通相送 明治何年何月何日			無之候也 何本金額
	歳入徴收官官氏名宛			

第三號書式

某年度朝鮮鐵道用品資金歲出金 明治何年何月中月計對照表				
備 考	要	仕拂元受高		仕 拂 額
		圓	錢	
	資本持越額	0		
	歳入コリ組替額	0		
	仕拂額			0
	翌年度へ繰越			0
	歳出仕拂金額繰越金へ繰入ノ差額 何々			0
	合 計	0		0
	書面之通ニ付記	明有之度歳書 明治何年何月何日	何枚添付候也 何本金額	
	仕拂命令官官氏名宛			
	證明ス	明治何年何月何日 仕拂命令官官氏名宛		

○大藏省訓令第二十號

朝鮮森林特別會計金庫出納事務規程ヲ左ノ通相定メ明治四十四年度ヨリ施行ス  
大藏大臣 侯爵桂太郎

朝鮮森林特別會計金庫出納事務規程  
第一條 朝鮮森林特別會計ノ歳入歳出金ノ出納ハ本規程ニ規定セサル事項ニ關シテハ作業會計並  
海軍工廠資金會計金庫出納事務規程ノ各條項ヲ準用ス